

2021年9月



マイナビ 2021年度キャリア・就職支援への取り組み調査

内容	大学等のキャリア・就職支援の実態に関する調査
実施期間	2021年6月18日～2021年7月16日
調査対象	全国の大学就職支援担当部署・窓口
調査方法	調査票を大学にメールにて配布。WEB上のアンケートフォームより回収

回答属性データ

カテゴリー	国公立	私立	全体
学校別回答数	105	320	425
キャンパス別の回答数	31	145	176
総計	136	465	601

キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各1回答として集計した。

学校所在地	国公立	私立	全体
北海道	15	22	37
東北	14	24	38
関東	21	186	207
甲信越	10	20	30
北陸	8	10	18
東海	14	51	65
関西	16	81	97
中国	12	21	33
四国	7	7	14
九州	19	43	62
総計	136	465	601

本資料について 資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
 株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 TEL: 03(6267)4571 / E-mail: myrm@mynavi.jp

質問事項

(1)就職ガイダンスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ参加人数の増減 [前期・インターンシップガイダンス・夏休み明け～年末・年明け・全期間] ・開催回数の増減 ・開催回数 ・延べ参加人数の増減推移(経年) ・開催回数の増減推移(経年) ・就職ガイダンスの開始時期(2022年卒、2023年卒予定)
(2)採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて	<ul style="list-style-type: none"> ・採用広報を目的としない業界研究セミナーの実施の有無 ・延べ参加人数の増減、増減割合 ・開催回数(回数)の増減 ・業界研究セミナーの開始時期
(3)採用広報を目的とした学内企業説明会について	<ul style="list-style-type: none"> ・採用広報を目的とした学内企業説明会実施の有無 ・延べ参加人数の増減、増減割合 ・開催回数(回数)の増減 ・開催時期の2021年卒との比較 ・開始時期、終了時期 ・WEBで実施した企業説明会で利用したWEB会議システム ・延べ参加企業数(WEB含む)平均、分布、増減割合
(4)大学で行っている就職支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・求人(票)の受付企業数の増減、増減推移(経年) ・求人(票)の受付延べ件数(2021年卒、2022年卒)、増減 ・人事担当者がキャリアセンターに求人(票)を[直接持参][WEB提出]した企業数の増減 ・[理系]学校推薦状発行開始時期 ・キャリアセンターのミッションでの優先順位1位 ・優先順位1位～5位(全体) ・キャリアセンターへの負荷(2021年卒との比較)
(5)新卒紹介について	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の状況 ・案内開始希望月 ・今後の対応
(6)低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育(正課)の実施の有無 ・開始時期 ・取り組んでいる内容 ・低学年向けのアセスメントツール実施の有無 ・単位認定型インターンシップの実施(2022年卒、2023年卒予定) ・有償インターンシップについての考え
(7)グローバル人材について	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生の国内就職希望者数平均、分布 ・外国人留学生向けの就職支援の実施、実施プログラム ・マイナビの外国人留学生就職支援についての認知度 ・日本人海外留学経験者への特別な就職支援の実施 ・日本人海外留学希望者への対応 ・マイナビの日本人留学生就職支援についての認知度
(8)新型コロナウイルス感染拡大が大学の支援やキャリアセンターの業務に及ぼす影響について	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言中の人事の訪問等窓口の受付状況 ・緊急事態宣言中の学生からの相談対応について ・新型コロナウイルス感染拡大以前から、WEBによる学生への相談対応を行っていたか ・WEBで行った支援について ・就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会のWEBと対面の比率 ・新型コロナウイルスの影響による内定取り消し報告 ・2022卒年学生の内定率(2021年卒との比較)

補足資料

(9)自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・学校主催で行う就職ガイダンス増減の理由 ・キャリアセンターの負荷増減の理由 ・今後のインターンシップに関して、就職情報会社に対するご意見やご要望等 ・今年度のインターンシップに関して、企業に対するご意見やご要望 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために行った/行う予定の対応策 ・今年度の就職活動について課題や、企業に向けてのご意見 ・これからの就職支援についてのご意見
---------	--

調査結果 概要

1) 就職ガイダンスについて

2022年卒学生向け就職ガイダンスにおいて、全期間における延べ参加人数を見ると、「減少」は28.9%（前年比9.2pt減）に対し、「増加」は29.1%（前年比12.6pt増）と、参加人数は前年より増加傾向にある。但し、期間別にみると、【前期（2020年3月～8月）】では「減少」が32.7%（前年比11.9pt増）と明らかな減少傾向。これは2021年卒では新型コロナウイルス感染拡大以前だったのに対し、今回の2022年卒では非常事態宣言などの影響を受け参加が減少したと考えられる。一方、【年明け（2021年1月～）】は「増加」が27.9%（前年比14.6pt増）と、「前期3月～8月」の減少からの反動で増加に転じており、2021年年明けから活発化したようだ。

開催回数について「増やした」が18.0%（前年比増4.0pt）、「減らした」が34.4%（前年比16.1pt増）と共に増えている。延べ参加人数が増えに対し、開催回数の「減らした」の16.1pt増に関しては、後述するWeb開催の拡充により参加人数の枠は広げやすく、また学生も対面よりも参加しやすかったと推察される。必ずしも開催回数の減少が参加人数の減にはつなげていない。

2) 採用広報を目的としない企業を招いて実施する業界研究セミナーについて

2022年卒学生への採用広報を目的としない業界研究セミナーは、前年同様7割の大学で実施されていた。参加人数は2021年卒と比較すると「減少」は25.2%（前年比10.4pt減）に対し、「増加」は30.6%（前年比8.4pt増）で増加傾向にある。開催回数について「増やした」が23.9%（前年比増8.4pt）、「減らした」が15.5%（前年比4.6pt増）と共に増えている。開催時期は、2021年卒では「学部3年、院1年の10月」（21.3%）にピークが来ていたが、2022年卒については、「学部3年、院1年の11月」（23.5%）がピークに。また「学部3年、院1年の2月」が2021年卒の9.3%から今回2022年卒の14.8%と大きく伸ばした。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、就職ガイダンス同様に後倒しの傾向がみえてくる。

3) 採用広報を目的とした学内企業説明会について

前回の2021年卒では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けた学内企業説明会だが、今回は「実施した」が79.0%となった。開催回数（日数）は「増やした」が37.1%（前年比23.0pt増）、「減らした」が13.6%（前年比19.4pt減）と、大学も積極的に実施している。それに伴い、延べ参加人数も「増えた」が39.3%（前年比21.4pt増）、「減った」が23.2%（前年比28.0pt減）と増加しており、参加人数、実施回数（日数）ともに大きく増加した。学内企業説明会開始時期は、前年は新型コロナウイルスの影響が少なかった「2月」（32.7%）が最も多かったが、今年は「3月」（37.3%）が最も多かった。就職ガイダンス、業界研究セミナー同様に新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、若干後倒しの傾向となっている。参加企業数はWEBによる開催環境が整備されたこともあったのか、平均142.5社（前年比49.3社増）と大きく伸び、2021年卒との比較では「増えた」の回答が30.8%（前年比12.9pt増）と増加した。

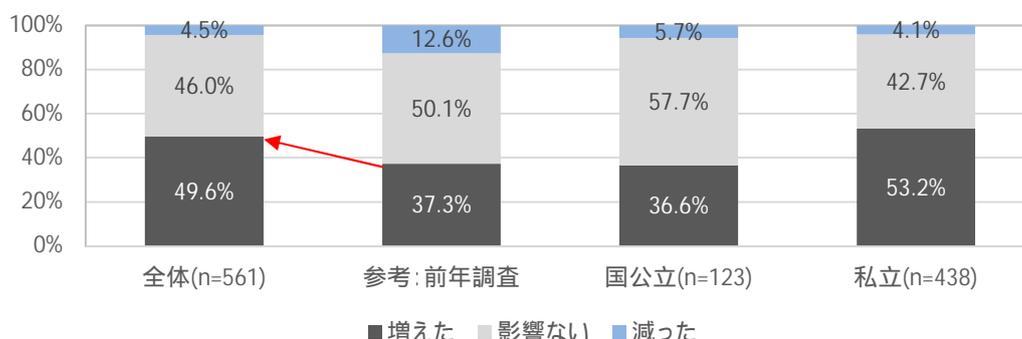
4) 大学で行っている就職支援について

求人（票）の受付企業数では、「減少」（36.7%）が「増加」（12.2%）を上回っており、前年同様に減少傾向にある。人事担当者がキャリアセンターに求人（票）を直接持参した企業数では「減った」が65.9%（前年比1.5pt減）となり、受付延べ件数平均も前年の9,592件から7,885件に減少している。

キャリアセンターのミッションでの優先順位は1位「学生個々人の満足度向上」、2位「就職希望者に占める就職率の向上」、3位「地域企業への人材輩出数の増加」、4位「特定業種（公務員等）への就職率向上」、5位「大企業への就職人数増」となり、前年と比べて順位や比率は大きくは変わらなかった。

特筆すべきは大学のキャリアセンターの負荷は2021年卒と比べて「増えた」が49.6%（前年比12.3pt増）と大幅に増加、逆に「減った」は4.5%（前年比8.1pt減）と、大きな変化がみられる。WEB、対面両方でのハイブリッド対応や、コロナ禍で悩む学生からの相談の増加、新たなWEB支援ツールの使い方を習得など、目まぐるしい変化の1年であったことは容易に想像がつく。前述した就職ガイダンスや業界セミナー、学内企業説明会は回数や参加人数など増化傾向となったが、コロナ禍でも積極的に開催されたのは、キャリアセンターの努力があってこそその結果と言える。

キャリアセンターの負荷の増減（2021年卒比較）



5) 新卒紹介について

新卒紹介における各校の状況は、「希望学生に個別に案内している + 希望学生のための登録会を実施している + なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている」の割合が54.7%（前年比8.3pt増）と半数を超えており、一定割合の認知を得て、学生の支援に活用する姿がみられる。今後の対応においても「案内してもよい + より積極的に案内したい」の合計が前年比で13.0pt増の45.1%となるなど、学生にとって多少厳しくなりそうな環境下で、様々な選択肢のひとつとして提示を行っているようだ。

6) 低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて

キャリア教育(正課)は88.2%の大学が実施している。前年同様に「学部1年次前期」(65.0%、前年比1.5pt増)から開始している大学が最も多く、キャリア教育(正課)を実施している大学の多くが大学1年からキャリア教育に取り組んでいることがわかる。大学で実施する単位認定型のインターンシップの実施に関して、2022年卒の実績では38.3%の大学が「実施しなかった」と回答した。新型コロナウイルス感染拡大の影響下で中止した大学もあったが、「WEBも取り入れて実施」の回答が16.1%と、単位認定型のインターンシップでもオンラインを実験的に導入した大学の苦勞が見受けられる。2023年卒に向けた予定では、「実施しない」は23.6%と減り、「例年通り実施+回数を減らして実施+WEBも取り入れて実施」の合計が66.6%と、2022年卒実績の合計54.3%を上回っており、前年は実施できなかった大学も今年は実施する方向で準備を進めている、もしくは進めたい意向である事が分かる。

7) グローバル人材について

日本国内での就職を希望する外国人留学生数の平均は19.7人と前年の38.9人を大きく下回った。ここ数年は増加傾向が続いていたが、インバウンド需要の縮小で求人情報が減ったことや、自国に帰国してWEBで通学していた学生もいたことから、希望人数が減少したと予想される。外国人留学生に対する就職支援については、「(日本人学生と区別して+区別せず)実施している+今年度実施予定はある」が8割を占めており、大学の就職支援も変わらず手厚い。一方、日本人の留学経験者への特別な就職支援については、「実施しておらず、当座の実施予定もない」との回答が88.5%(前年85.4%)と引き続き高い。また、海外留学希望者への対応(複数回答)では「留学中止をアナウンス」が35.0%、「留学延期を推奨」が34.2%と高かったが、提携校とオンラインで実施(オンライン留学)も33.6%と浸透が広がっているのは興味深い。海外留学は新型コロナウイルスの影響が当然大きいので、状況を踏まえながら再開やオンライン留学などの検討が進むだろう。

8) 新型コロナウイルス感染拡大が大学の支援やキャリアセンターの業務に及ぼす影響について

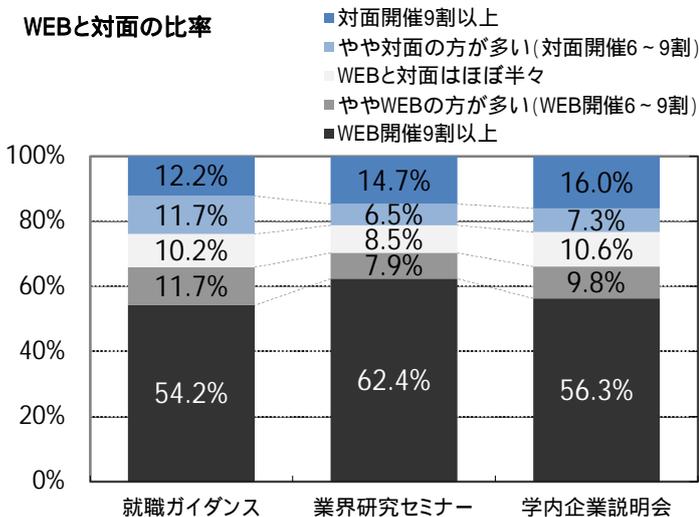
緊急事態宣言中の人事の訪問等窓口の受付状況(複数回答)は、「通常通り」が前年比35.4pt増の43.2%と、大幅増となった。多くのキャリアセンターが緊急対応を迫られた前年の2021年卒を経て、新型コロナウイルス蔓延の環境下でも対応できるようになっている。対面の制限がある状況の中、特に「WEBでの対応」が76.0%(前年比38.8pt増)と、WEB会議システム等を活用して受付していると推測される。また、「閉室中のためストップ」は2.2%(11.1pt減)と、大幅に減少した。

緊急事態宣言中の学生からの相談対応についても同様の傾向で、「通常通り」が55.7%(前年比46.7pt増)となっており、電話、メール、WEBを駆使して学生の相談に対応している。結果、面談予約の無断キャンセルやコミュニケーションの取りづらさなど、前述のキャリアセンターの負担増ともつながっていると推察される。

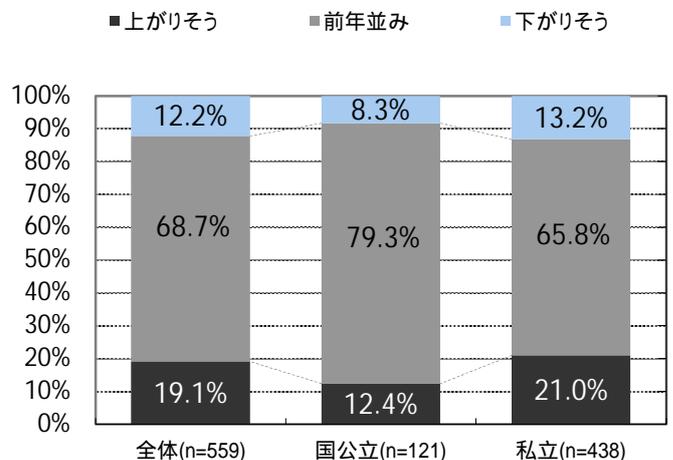
新型コロナウイルス感染拡大で就活のオンライン化が進む中、学内の就職支援においても「WEB開催9割以上」とする回答が、就職ガイダンス(54.2%)、業界研究セミナー(62.4%)、学内企業説明会(56.3%)と、それぞれ最も多い比率となった。地域や時期によって新型コロナウイルス感染拡大の影響は異なるが、キャリアセンターでも大いにオンラインを活用していることがわかった。

最後に、新型コロナウイルスの影響による内定取り消し報告の有無は1名でも「報告があった」とする大学が19.8%となった。具体的な人数はわからないため過剰に多いと判断すべきではないが、多少なりとも心配になる結果となった。2022卒年学生の内定率は2021年卒と比べてどうなりそうかの回答は、ある程度学生からの報告も上がっている時期ということもあり、「上がりそう」が19.1%、「前年並み」が68.7%、「下がりそう」が12.2%と、極端に悲観的な予想にはなっていない。

WEBと対面の比率



22年卒の内定率は21年卒と比較してどうなりそうか



(1) 就職ガイダンスについて

就職ガイダンスは総合ガイダンスから少人数の講座までを含みます。

2022年卒学生の就職ガイダンス延べ参加人数の増減

【前期 (2020年3月～8月)】

	全体(n=560)	国公立(n=123)	私立(n=437)	参考:前年調査
増加	22.5%	21.1%	22.9%	23.2%
前年度並み	44.8%	43.9%	45.1%	55.9%
減少	32.7%	35.0%	32.0%	20.8%

【インターンシップガイダンス】

	全体(n=535)	国公立(n=114)	私立(n=421)	参考:前年調査
増加	26.5%	27.2%	26.4%	29.9%
前年度並み	43.2%	43.0%	43.2%	50.7%
減少	30.3%	29.8%	30.4%	19.5%

【夏休み明け～年末(2020年9月～12月)】

	全体(n=555)	国公立(n=123)	私立(n=432)	参考:前年調査
増加	22.9%	23.6%	22.7%	14.0%
前年度並み	48.3%	45.5%	49.1%	55.1%
減少	28.8%	30.9%	28.2%	30.9%

【年明け(2021年1月～)】

	全体(n=549)	国公立(n=120)	私立(n=429)	参考:前年調査
増加	27.9%	25.0%	28.7%	13.3%
前年度並み	49.4%	47.5%	49.9%	44.7%
減少	22.8%	27.5%	21.4%	42.0%

【全期間(上記の全期間)】

	全体(n=554)	国公立(n=122)	私立(n=432)	参考:前年調査
増加	29.1%	30.3%	28.7%	16.5%
前年度並み	42.1%	36.9%	43.5%	45.4%
減少	28.9%	32.8%	27.8%	38.1%

2022年卒学生向け就職ガイダンス開催回数の増減

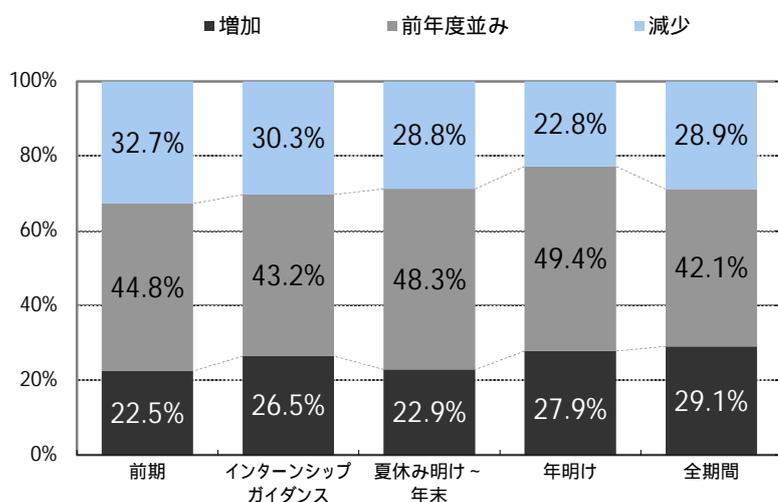
オンデマンド型配信は除く

	全体(n=555)	国公立(n=125)	私立(n=430)	参考:前年調査
増えた	18.0%	14.4%	19.1%	14.0%
前年度並み	47.6%	41.6%	49.3%	67.7%
減った	34.4%	44.0%	31.6%	18.3%

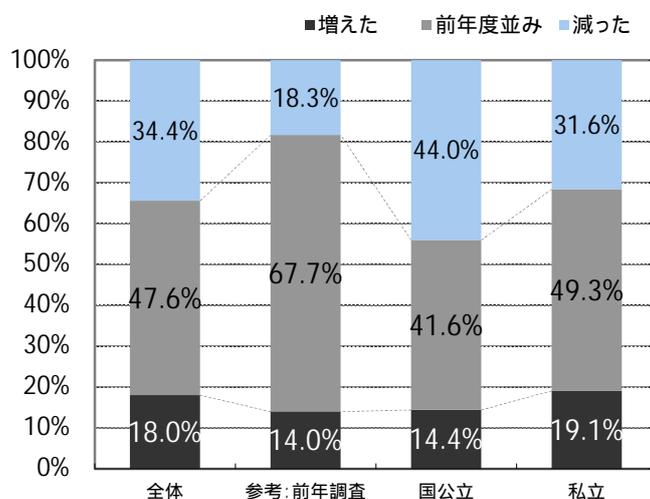
22年卒学生向けガイダンス開催回数

	全体(n=451)	国公立(n=102)	私立(n=349)
開催回数(オンデマンド型配信は除く) 平均	16.2	19	15.4

学生の延べ参加人数の増減【開催時期別】(全体)



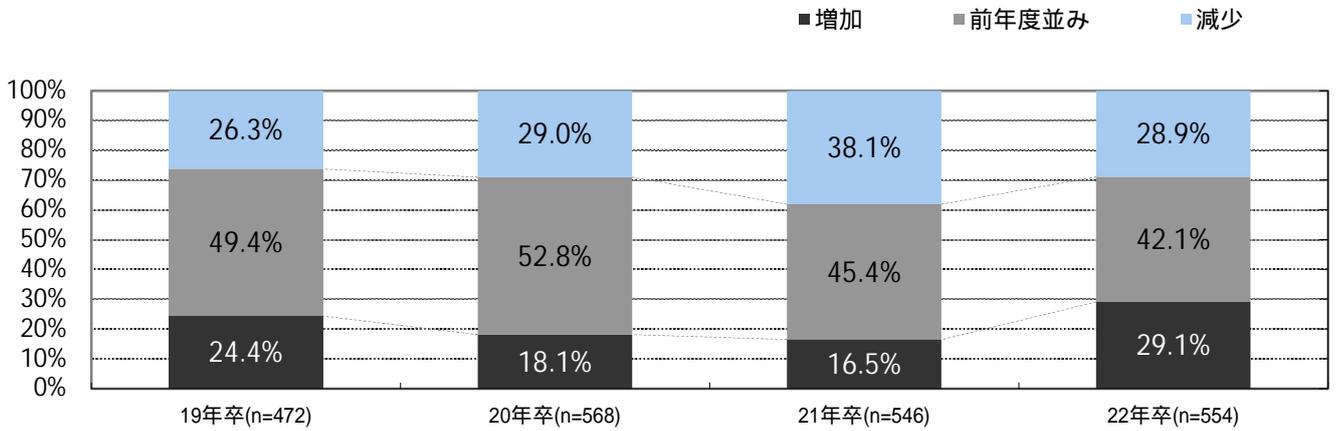
就職ガイダンス開催回数の増減



延べ参加人数の増減(2019年卒～22年卒)

	19年卒(n=472)	20年卒(n=568)	21年卒(n=546)	22年卒(n=554)
増えた	24.4%	18.1%	16.5%	29.1%
前年度並み	49.4%	52.8%	45.4%	42.1%
減った	26.3%	29.0%	38.1%	28.9%

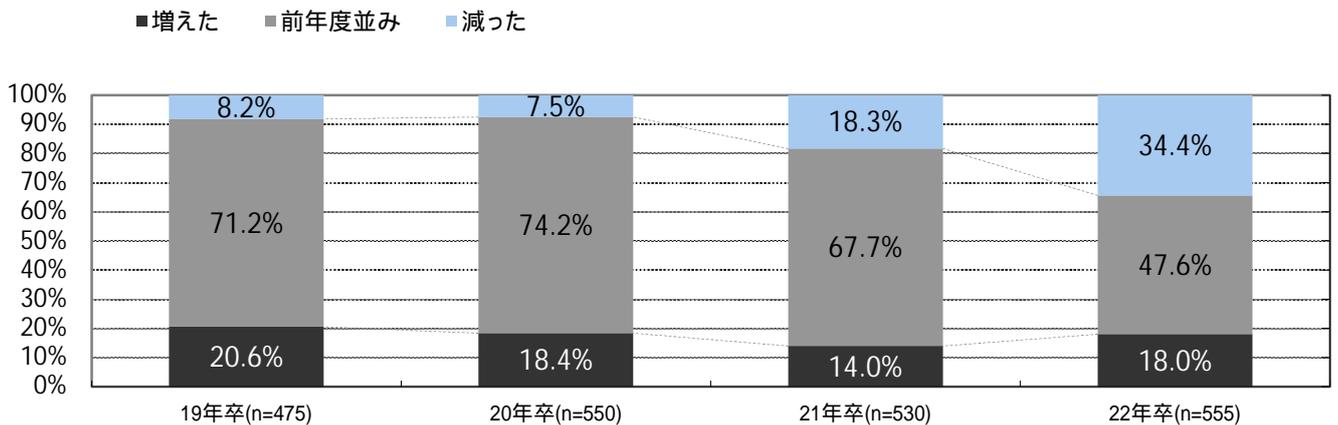
延べ参加人数増減(2019年卒～22年卒)



就職ガイダンス開催回数の増減推移(2019年卒～22年卒)

	19年卒(n=475)	20年卒(n=550)	21年卒(n=530)	22年卒(n=555)
増えた	20.6%	18.4%	14.0%	18.0%
前年度並み	71.2%	74.2%	67.7%	47.6%
減った	8.2%	7.5%	18.3%	34.4%

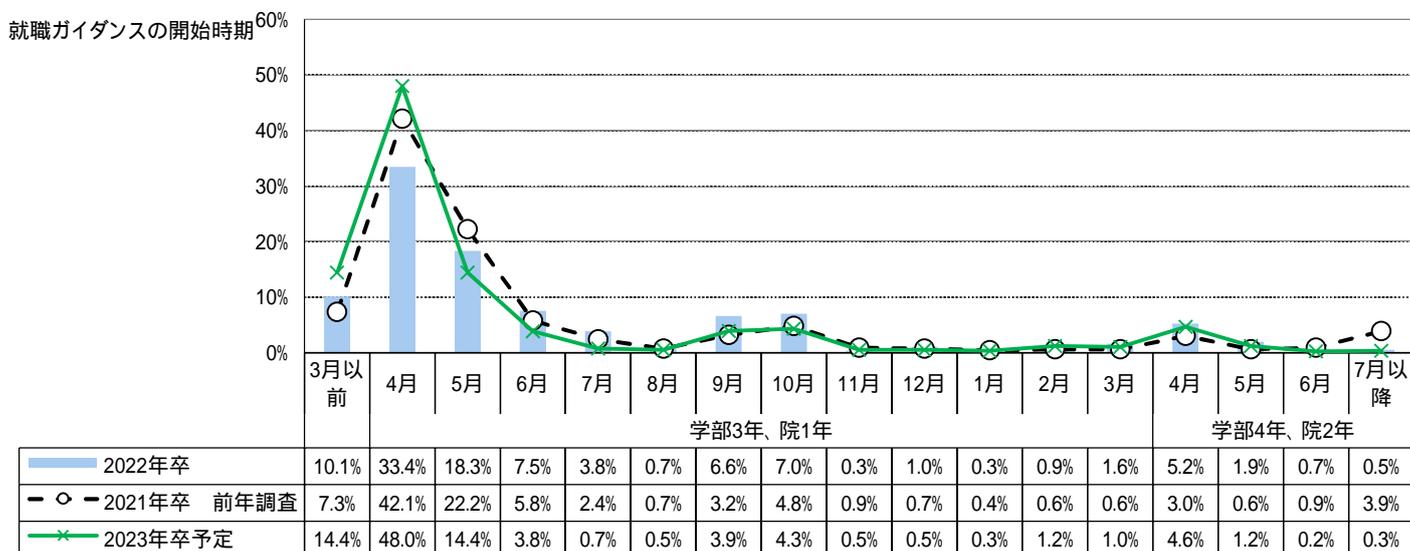
就職ガイダンス開催回数増減(2019年卒～22年卒)



就職ガイダンスの開始時期

2022年卒学生向け 就職ガイダンスの開始時期	全体(n=574)	国公立(n=130)	私立(n=444)	参考: 前年調査
2020年3月以前	10.1%	7.7%	10.8%	7.3%
2020年4月	33.4%	28.5%	34.9%	42.1%
2020年5月	18.3%	27.7%	15.5%	22.2%
2020年6月	7.5%	10.8%	6.5%	5.8%
2020年7月	3.8%	3.1%	4.1%	2.4%
2020年8月	0.7%	-	0.9%	0.7%
2020年9月	6.6%	3.8%	7.4%	3.2%
2020年10月	7.0%	9.2%	6.3%	4.8%
2020年11月	0.3%	0.8%	0.2%	0.9%
2020年12月	1.0%	-	1.4%	0.7%
2021年1月	0.3%	-	0.5%	0.4%
2021年2月	0.9%	-	1.1%	0.6%
2021年3月	1.6%	1.5%	1.6%	0.6%
2021年4月	5.2%	3.8%	5.6%	3.0%
2021年5月	1.9%	1.5%	2.0%	0.6%
2021年6月	0.7%	0.8%	0.7%	0.9%
2021年7月以降	0.5%	0.8%	0.5%	3.9%

2023年卒向け 就職ガイダンスの開始予定時期	全体(n=583)	国公立(n=132)	私立(n=451)
2021年3月以前	14.4%	11.4%	15.3%
2021年4月	48.0%	47.7%	48.1%
2021年5月	14.4%	22.7%	12.0%
2021年6月	3.8%	4.5%	3.5%
2021年7月	0.7%	-	0.9%
2021年8月	0.5%	-	0.7%
2021年9月	3.9%	0.8%	4.9%
2021年10月	4.3%	6.1%	3.8%
2021年11月	0.5%	-	0.7%
2021年12月	0.5%	-	0.7%
2022年1月	0.3%	0.8%	0.2%
2022年2月	1.2%	1.5%	1.1%
2022年3月	1.0%	1.5%	0.9%
2022年4月	4.6%	2.3%	5.3%
2022年5月	1.2%	0.8%	1.3%
2022年6月	0.2%	-	0.2%
2022年7月以降	0.3%	-	0.4%



(2) 2022年卒向けの採用広報を目的としない企業を招いての業界研究セミナーについて

採用広報を目的としない業界研究セミナーの実施

	全体(n=601)	国公立(n=136)	私立(n=465)	参考:前年調査
実施している	71.7%	71.3%	71.8%	72.8%
実施していない	28.3%	28.7%	28.2%	27.2%

2022年卒学生の延べ参加人数は2021年卒と比較して

	全体(n=353)	国公立(n=79)	私立(n=274)	参考:前年調査
増加	30.6%	24.1%	32.5%	22.2%
前年度並み	44.2%	40.5%	45.3%	42.2%
減少	25.2%	35.4%	22.3%	35.6%

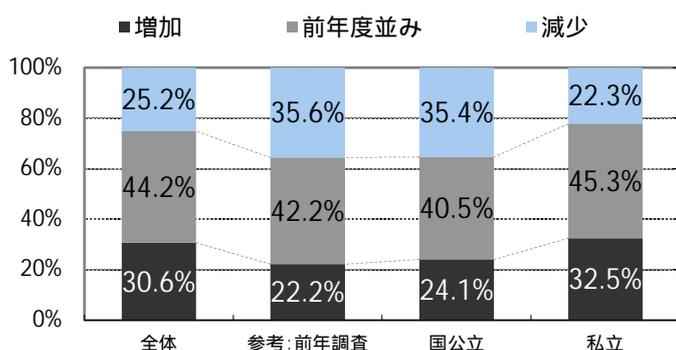
2022年卒学生の延べ参加人数の増減の割合

	全体(n=353)	国公立(n=79)	私立(n=274)	参考:前年調査
10割以上増加	4.0%	5.1%	3.6%	1.9%
9割増加	0.6%	-	0.7%	-
8割増加	-	-	-	0.3%
7割増加	-	-	-	0.8%
6割増加	0.6%	-	0.7%	0.5%
5割増加	2.0%	1.3%	2.2%	2.1%
4割増加	1.1%	1.3%	1.1%	0.3%
3割増加	5.4%	1.3%	6.6%	2.9%
2割増加	6.8%	6.3%	6.9%	5.3%
1割増加	4.0%	5.1%	3.6%	5.1%
増加(割合無回答)	6.2%	3.8%	6.9%	2.9%
前年度並み(増減はなさそう)	44.2%	40.5%	45.3%	42.2%
1割減少	4.2%	6.3%	3.6%	8.0%
2割減少	3.1%	2.5%	3.3%	7.2%
3割減少	4.8%	6.3%	4.4%	8.0%
4割減少	2.5%	2.5%	2.6%	1.6%
5割減少	1.1%	1.3%	1.1%	2.9%
6割減少	0.6%	1.3%	0.4%	0.3%
7割減少	-	-	-	0.8%
8割減少	-	-	-	0.8%
9割減少	-	-	-	-
減少(割合無回答)	8.8%	15.2%	6.9%	5.9%

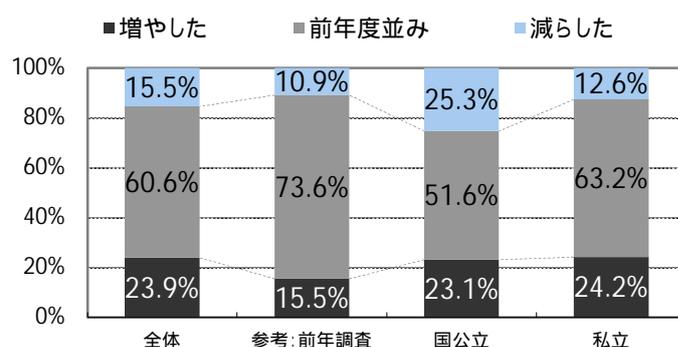
業界研究セミナー開催回数(日数)は2021年卒学生と比べて

	全体(n=401)	国公立(n=91)	私立(n=310)	参考:前年調査
増やした	23.9%	23.1%	24.2%	15.5%
前年度並み	60.6%	51.6%	63.2%	73.6%
減らした	15.5%	25.3%	12.6%	10.9%

業界研究セミナー参加人数



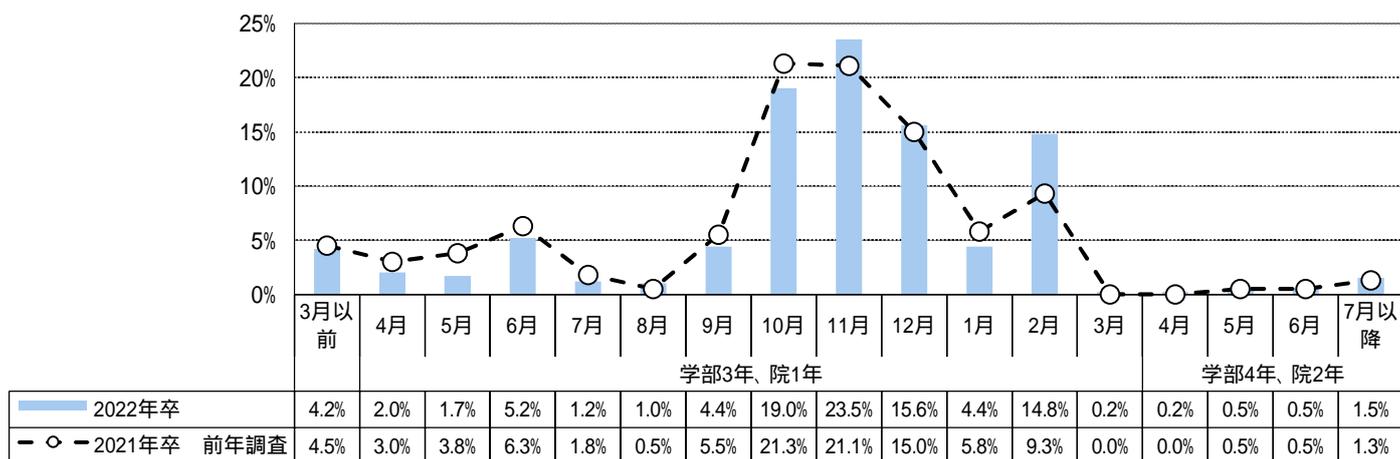
業界研究セミナー開催回数



2022年卒向け業界研究セミナーの開始時期

	全体(n=405)	国公立(n=92)	私立(n=313)	参考:前年調査
2020年3月以前	4.2%	2.2%	4.8%	4.5%
2020年4月	2.0%	1.1%	2.2%	3.0%
2020年5月	1.7%	3.3%	1.3%	3.8%
2020年6月	5.2%	7.6%	4.5%	6.3%
2020年7月	1.2%	1.1%	1.3%	1.8%
2020年8月	1.0%	1.1%	1.0%	0.5%
2020年9月	4.4%	3.3%	4.8%	5.5%
2020年10月	19.0%	18.5%	19.2%	21.3%
2020年11月	23.5%	23.9%	23.3%	21.1%
2020年12月	15.6%	21.7%	13.7%	15.0%
2021年1月	4.4%	3.3%	4.8%	5.8%
2021年2月	14.8%	10.9%	16.0%	9.3%
2021年3月	0.2%	1.1%	-	-
2021年4月	0.2%	-	0.3%	-
2021年5月	0.5%	-	0.6%	0.5%
2021年6月	0.5%	1.1%	0.3%	0.5%
2021年7月以降	1.5%	-	1.9%	1.3%

業界研究セミナーの開始時期



(3) 採用広報を目的とした学内企業説明会について

2022年卒学生向けの採用広報を目的とした学内企業説明会の実施について

	全体(n=601)	国公立(n=136)	私立(n=465)
実施した(予定含む)	79.0%	78.7%	79.1%
実施していない	21.0%	21.3%	20.9%

2022年卒学生の延べ参加人数は2021年卒と比較して

	全体(n=384)	国公立(n=79)	私立(n=305)	参考:前年調査
増えた	39.3%	32.9%	41.0%	17.9%
前年度並み	37.5%	40.5%	36.7%	30.8%
減った	23.2%	26.6%	22.3%	51.2%

2022年卒学生の延べ参加人数の増減の割合

	全体(n=384)	国公立(n=79)	私立(n=305)	参考:前年調査
10割以上増加	6.0%	7.6%	5.6%	2.0%
9割増加	0.3%	1.3%	-	-
8割増加	1.0%	1.3%	1.0%	-
7割増加	-	-	-	1.0%
6割増加	0.8%	-	1.0%	0.5%
5割増加	3.1%	1.3%	3.6%	1.5%
4割増加	1.0%	-	1.3%	-
3割増加	8.1%	3.8%	9.2%	1.5%
2割増加	4.7%	2.5%	5.2%	4.0%
1割増加	5.7%	3.8%	6.2%	4.0%
増加(割合無回答)	8.6%	11.4%	7.9%	3.5%
前年度並み(増減はなさそう)	37.5%	40.5%	36.7%	30.8%
1割減少	2.9%	3.8%	2.6%	4.5%
2割減少	2.3%	1.3%	2.6%	7.5%
3割減少	2.1%	2.5%	2.0%	7.5%
4割減少	1.3%	2.5%	1.0%	2.5%
5割減少	2.1%	1.3%	2.3%	7.0%
6割減少	0.5%	1.3%	0.3%	3.5%
7割減少	0.8%	-	1.0%	-
8割減少	0.3%	1.3%	-	0.5%
9割減少	-	-	-	-
減少(割合無回答)	10.9%	12.7%	10.5%	18.4%

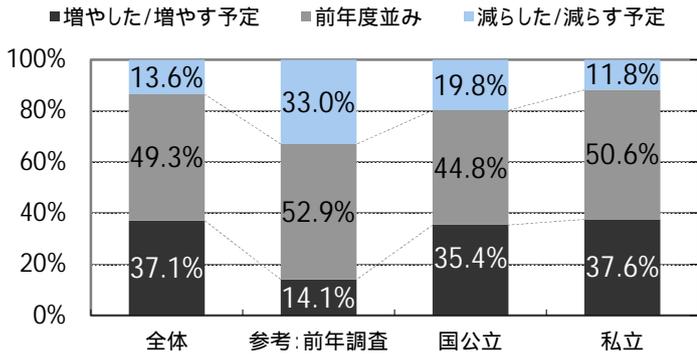
2022年卒学生向け開催回数(日数)の増減

	全体(n=442)	国公立(n=96)	私立(n=346)	参考:前年調査
増やした	37.1%	35.4%	37.6%	14.1%
前年度並み	49.3%	44.8%	50.6%	52.9%
減らした	13.6%	19.8%	11.8%	33.0%

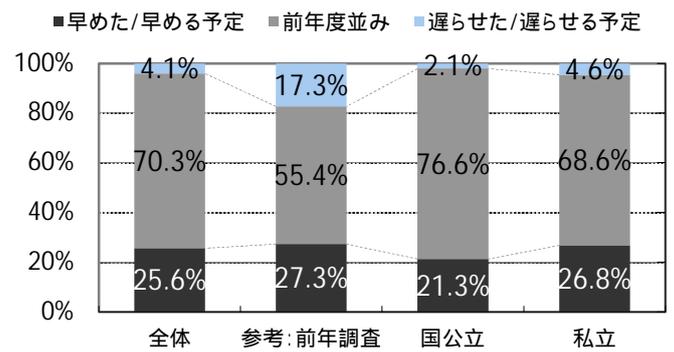
2022年卒学生向け開催時期の2021年卒との比較

	全体(n=441)	国公立(n=94)	私立(n=347)	参考:前年調査
早めた/早める予定	25.6%	21.3%	26.8%	27.3%
前年度並み	70.3%	76.6%	68.6%	55.4%
遅らせた/遅らせる予定	4.1%	2.1%	4.6%	17.3%

学内企業説明会開催回数(日数)の増減



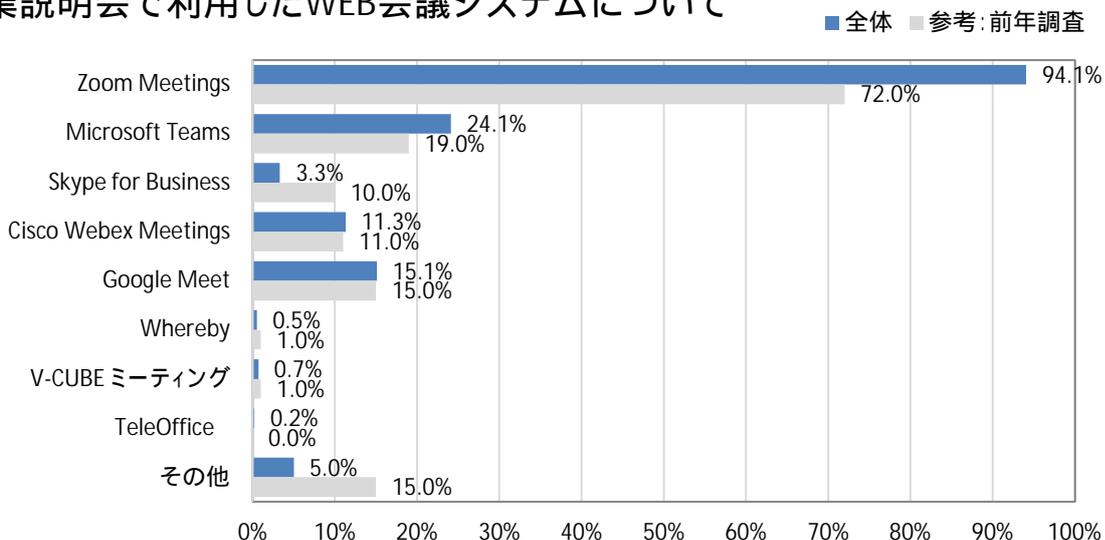
学内企業説明会開催時期の2021年卒との比較



WEBで実施した企業説明会で利用したWEB会議システムについて(複数回答)

	全体(n=423)	国公立(n=99)	私立(n=324)	参考:前年調査
Zoom Meetings	94.1%	91.9%	94.8%	72.0%
Microsoft Teams	24.1%	28.3%	22.8%	19.0%
Skype for Business	3.3%	6.1%	2.5%	10.0%
Cisco Webex Meetings	11.3%	22.2%	8.0%	11.0%
Google Meet	15.1%	14.1%	15.4%	15.0%
Whereby	0.5%	1.0%	0.3%	1.0%
V-CUBE ミーティング	0.7%	1.0%	0.6%	1.0%
TeleOffice	0.2%	-	0.3%	-
その他	5.0%	10.1%	3.4%	15.0%

企業説明会で利用したWEB会議システムについて



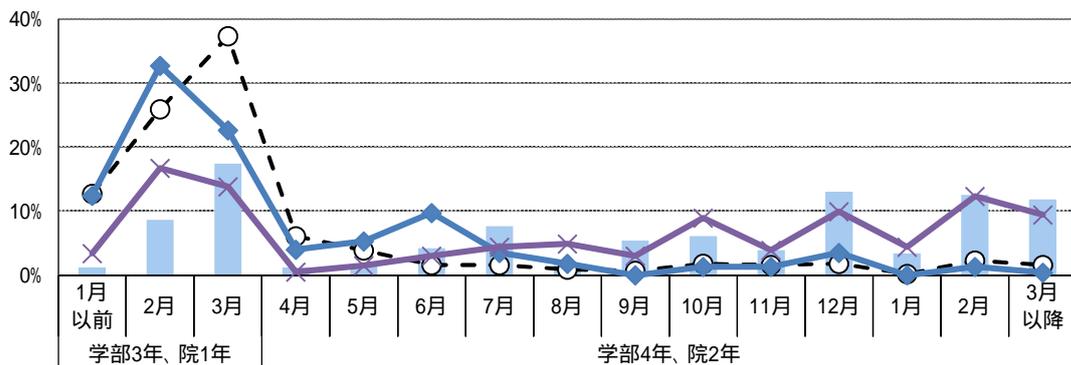
2022年卒向け学内企業説明会の開始時期

	全体(n=440)	国公立(n=97)	私立(n=343)	参考:前年調査
2021年1月以前	12.7%	11.3%	13.1%	12.4%
2021年2月	25.9%	16.5%	28.6%	32.7%
2021年3月	37.3%	55.7%	32.1%	22.6%
2021年4月	6.1%	2.1%	7.3%	4.0%
2021年5月	3.9%	-	5.0%	5.3%
2021年6月	1.6%	2.1%	1.5%	9.7%
2021年7月	1.6%	2.1%	1.5%	3.5%
2021年8月	0.9%	-	1.2%	1.8%
2021年9月	0.7%	-	0.9%	-
2021年10月	1.8%	3.1%	1.5%	1.3%
2021年11月	1.6%	1.0%	1.7%	1.3%
2021年12月	1.8%	3.1%	1.5%	3.5%
2022年1月	0.2%	-	0.3%	-
2022年2月	2.3%	-	2.9%	1.3%
2022年3月以降	1.6%	3.1%	1.2%	0.4%

2022年卒向け学内企業説明会の終了時期

	全体(n=407)	国公立(n=90)	私立(n=317)	参考:前年調査
2020年1月以前	1.2%	1.1%	1.3%	3.4%
2020年2月	8.6%	5.6%	9.5%	16.7%
2020年3月	17.4%	30.0%	13.9%	13.8%
2020年4月	1.2%	2.2%	0.9%	0.5%
2020年5月	1.7%	3.3%	1.3%	1.5%
2020年6月	4.2%	3.3%	4.4%	3.0%
2020年7月	7.6%	6.7%	7.9%	4.4%
2020年8月	1.7%	-	2.2%	4.9%
2020年9月	5.4%	6.7%	5.0%	3.0%
2020年10月	6.1%	4.4%	6.6%	8.9%
2020年11月	3.9%	4.4%	3.8%	3.9%
2020年12月	13.0%	8.9%	14.2%	9.9%
2021年1月	3.4%	2.2%	3.8%	4.4%
2021年2月	12.5%	5.6%	14.5%	12.3%
2021年3月以降	11.8%	15.6%	10.7%	9.4%

22年卒向け学内企業説明会の開始時期



2022年卒 終了時期	1.2%	8.6%	17.4%	1.2%	1.7%	4.2%	7.6%	1.7%	5.4%	6.1%	3.9%	13.0%	3.4%	12.5%	11.8%
2022年卒 開始時期	12.7%	25.9%	37.3%	6.1%	3.9%	1.6%	1.6%	0.9%	0.7%	1.8%	1.6%	1.8%	0.2%	2.3%	1.6%
2021年卒 開始時期	12.4%	32.7%	22.6%	4.0%	5.3%	9.7%	3.5%	1.8%	0.0%	1.3%	1.3%	3.5%	0.0%	1.3%	0.4%
2021年卒 終了時期	3.4%	16.7%	13.8%	0.5%	1.5%	3.0%	4.4%	4.9%	3.0%	8.9%	3.9%	9.9%	4.4%	12.3%	9.4%

2022年卒学生向け学内企業説明会	全体(n=363)	国公立(n=83)	私立(n=280)	参考:前年調査
これまでの延べ参加企業数(WEB含む) 平均	142.5	164.3	136	93.2

延べ参加企業数(WEB含む)の分布

	全体(n=363)	国公立(n=83)	私立(n=280)	参考:前年調査
100社未満	53.4%	48.2%	55.0%	68.5%
100～199社	19.8%	16.9%	20.7%	19.3%
200～299社	10.7%	13.3%	10.0%	4.6%
300～399社	7.2%	9.6%	6.4%	4.1%
400～499社	4.4%	7.2%	3.6%	2.0%
500社以上	4.5%	4.8%	4.2%	1.5%

2022年卒学生の延べ参加企業数は2021年卒と比較して

	全体(n=373)	国公立(n=72)	私立(n=301)	参考:前年調査
増えた	30.8%	30.6%	30.9%	17.9%
前年度並み	37.8%	37.5%	37.9%	30.8%
減った	31.4%	31.9%	31.2%	51.2%

2022年卒学生の延べ参加企業数の増減の割合

	全体(n=373)	国公立(n=72)	私立(n=301)	参考:前年調査
10割以上増加	4.8%	5.6%	4.7%	1.0%
9割増加	0.5%	1.4%	0.3%	-
8割増加	0.8%	-	1.0%	-
7割増加	1.1%	-	1.3%	-
6割増加	-	-	-	0.5%
5割増加	1.6%	1.4%	1.7%	1.0%
4割増加	0.5%	1.4%	0.3%	0.5%
3割増加	3.8%	-	4.7%	1.6%
2割増加	5.1%	5.6%	5.0%	1.0%
1割増加	4.8%	1.4%	5.6%	3.7%
増加(割合無回答)	7.8%	13.9%	6.3%	4.2%
前年度並み(増減はなさそう)	37.8%	37.5%	37.9%	30.4%
1割減少	5.1%	6.9%	4.7%	9.4%
2割減少	6.7%	9.7%	6.0%	6.3%
3割減少	3.5%	-	4.3%	5.8%
4割減少	2.4%	4.2%	2.0%	3.7%
5割減少	5.1%	4.2%	5.3%	6.3%
6割減少	0.3%	-	0.3%	2.1%
7割減少	-	-	-	2.1%
8割減少	-	-	-	1.6%
9割減少	-	-	-	1.0%
減少(割合無回答)	8.3%	6.9%	8.6%	17.8%

(4) 大学で行っている就職支援について
求人(票)の受付学生への就職支援の取り組み・学校推薦状の発行について

求人(票)の受付企業数の増減

	全体(n=556)	国公立(n=121)	私立(n=435)	参考:前年調査
増加	12.2%	18.2%	10.6%	12.2%
前年度並み	51.1%	59.5%	48.7%	47.0%
減少	36.7%	22.3%	40.7%	40.8%

求人(票)の受付企業数の増減(2018年卒～2022年卒)

	18年卒(n=510)	19年卒(n=466)	20年卒(n=556)	21年卒(n=542)	22年卒(n=556)
増加	50.0%	46.6%	35.3%	12.2%	12.2%
前年度並み	43.1%	42.7%	51.6%	47.0%	51.1%
減少	6.9%	10.7%	13.1%	40.8%	36.7%

	全体(n=332)	国公立(n=73)	私立(n=259)	参考:前年調査
求人(票)の2021年卒の受付延べ件数 平均	9,592	9,329	9,667	9,769

	全体(n=300)	国公立(n=68)	私立(n=232)	参考:前年調査
求人(票)の2022年卒の受付延べ件数 平均	7,885	7,652	7,953	7,384

求人票の受付延べ件数の増減

	全体(n=527)	国公立(n=116)	私立(n=411)
増加	15.7%	24.1%	13.4%
前年度並み	47.4%	46.6%	47.7%
減少	36.8%	29.3%	38.9%

人事担当者がキャリアセンターに求人(票)を[直接持参]した企業数

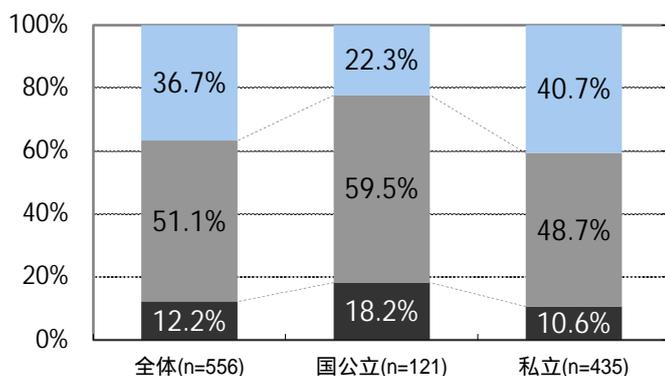
	全体(n=540)	国公立(n=118)	私立(n=422)	参考:前年調査
増えた	9.6%	5.1%	10.9%	4.5%
前年度並み	24.4%	24.6%	24.4%	28.2%
減った	65.9%	70.3%	64.7%	67.4%

人事担当者がキャリアセンターに求人(票)を[WEB提出]した企業数

	全体(n=525)	国公立(n=108)	私立(n=417)
増えた	23.6%	35.2%	20.6%
前年度並み	49.9%	50.9%	49.6%
減った	26.5%	13.9%	29.7%

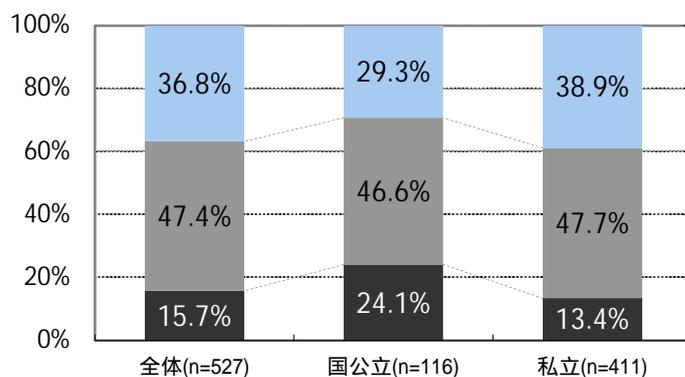
求人(票)受付社数の増減

■増加 ■前年度並み ■減少



求人(票)の延べ件数の増減

■増加 ■前年度並み ■減少

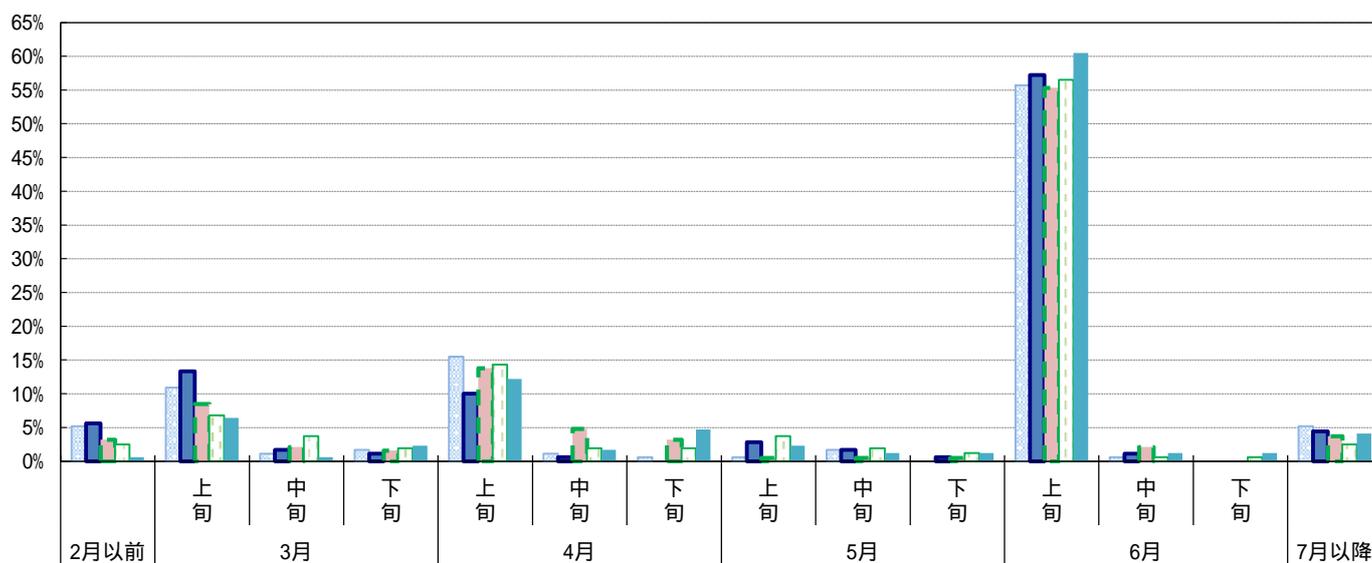


推薦状を発行する予定の学校のみ集計

【理系】学校推薦状発行開始時期		全体(n=174)	国公立(n=111)	私立(n=402)	参考:前年調査
2021年2月以前		5.2%	2.7%	1.5%	5.6%
3月	上旬	10.9%	7.2%	2.7%	13.3%
	中旬	1.1%	0.9%	0.2%	1.7%
	下旬	1.7%	0.9%	0.5%	1.1%
4月	上旬	15.5%	5.4%	5.2%	10.0%
	中旬	1.1%	1.8%	-	0.6%
	下旬	0.6%	-	0.2%	-
5月	上旬	0.6%	-	0.2%	2.8%
	中旬	1.7%	-	0.7%	1.7%
	下旬	-	-	-	0.6%
6月	上旬	55.7%	32.4%	15.2%	57.2%
	中旬	0.6%	0.9%	-	1.1%
	下旬	-	-	-	-
7月以降		5.2%	1.8%	1.7%	4.4%
3月以前の合計		18.9%	11.7%	4.9%	21.7%

【理系】学校推薦状発行開始時期(経年)

■2021年度 ■参考:2020年度 ■参考:2019年度 ■参考:2018年度 ■参考:2017年度



キャリアセンターのミッションでの優先順位1位

	全体(n=448)	国公立(n=84)	私立(n=364)	参考:前年調査
就職希望者に占める就職率の向上	42.6%	41.7%	42.9%	42.0%
大企業への就職人数増	2.2%	1.2%	2.5%	2.2%
学生個々人の満足度向上	50.2%	41.7%	52.2%	50.9%
地域企業への人材輩出数の増加	1.6%	4.8%	0.8%	2.2%
特定業種(公務員等)への就職率向上	3.3%	10.7%	1.6%	2.7%

キャリアセンターのミッションでの優先順位

1位～5位(全体(n=448))

	1位	2位	3位	4位	5位
就職希望者に占める就職率の向上	42.6%	43.1%	8.7%	3.8%	1.8%
大企業への就職人数増	2.2%	8.7%	26.6%	22.1%	40.4%
学生個々人の満足度向上	50.2%	33.9%	12.3%	3.1%	0.4%
地域企業への人材輩出数の増加	1.6%	9.8%	28.8%	30.8%	29.0%
特定業種(公務員等)への就職率向上	3.3%	4.5%	23.7%	40.2%	28.3%

参考:2021年度調査

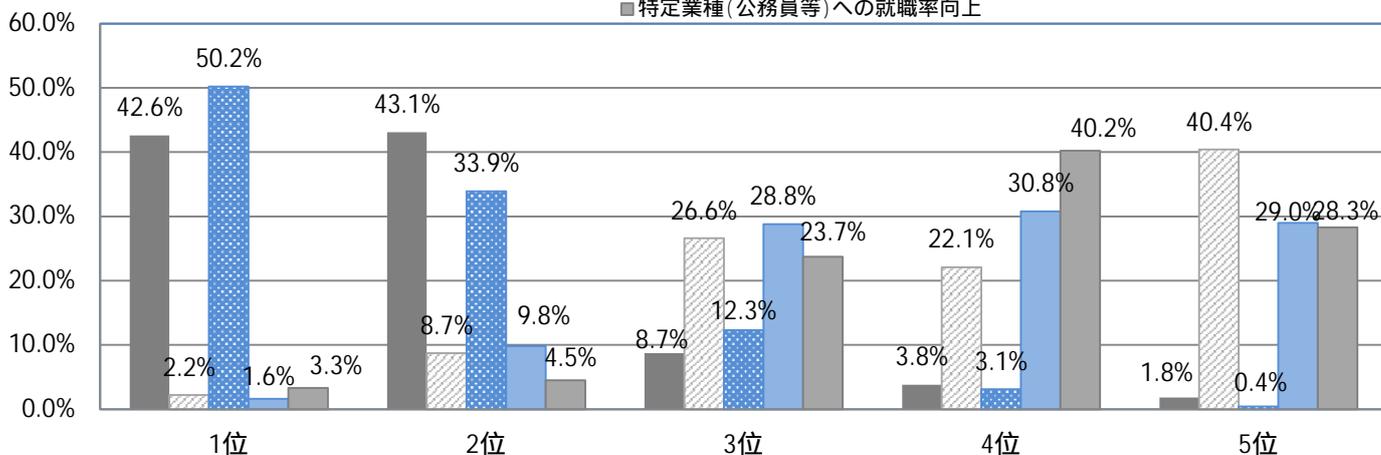
キャリアセンターのミッションでの優先順位

1位～5位(全体(n=410))

	1位	2位	3位	4位	5位
就職希望者に占める就職率の向上	42.0%	41.4%	11.3%	2.7%	2.7%
大企業への就職人数増	2.2%	7.5%	26.1%	27.2%	36.9%
学生個々人の満足度向上	50.9%	32.7%	13.3%	2.0%	1.1%
地域企業への人材輩出数の増加	2.2%	10.6%	28.8%	32.1%	26.3%
特定業種(公務員等)への就職率向上	2.7%	7.7%	20.6%	36.1%	33.0%

キャリアセンターのミッションでの優先順位1位～5位

- 就職希望者に占める就職率の向上
- 大企業への就職人数増
- 学生個々人の満足度向上
- 地域企業への人材輩出数の増加
- 特定業種(公務員等)への就職率向上



キャリアセンターの負担は2021年卒と比べて

	全体(n=561)	国公立(n=123)	私立(n=438)	参考:前年調査
増えた	49.6%	36.6%	53.2%	37.3%
影響ない	46.0%	57.7%	42.7%	50.1%
減った	4.5%	5.7%	4.1%	12.6%

(5) 新卒紹介について

新卒紹介における各校の状況

	全体(n=555)	国公立(n=120)	私立(n=435)	参考: 19年実施調査
特に何もしていない	32.4%	50.8%	27.4%	39.4%
情報は集めているが、学生には勧めていない	12.8%	9.2%	13.8%	14.1%
希望学生に個別に案内している	25.9%	20.8%	27.4%	22.9%
希望学生のための登録会を実施している	15.5%	10.8%	16.8%	13.4%
なるべく多くの学生に登録させるための施策をとっている	13.3%	8.3%	14.7%	10.1%
特に何もしていない+情報を集めているが、学生には勧めていない	45.2%	60.0%	41.2%	53.5%

新卒紹介の案内開始希望月

	全体(n=373)	国公立(n=66)	私立(n=307)	参考: 19年実施調査
卒業・修了年次[前年]5月以前	14.5%	18.2%	13.7%	16.0%
卒業・修了年次[前年]6月	5.6%	7.6%	5.2%	3.0%
卒業・修了年次[前年]7月	1.6%	-	2.0%	0.9%
卒業・修了年次[前年]8月	2.1%	1.5%	2.3%	0.3%
卒業・修了年次[前年]9月	2.7%	-	3.3%	2.1%
卒業・修了年次[前年]10月	5.4%	6.1%	5.2%	7.1%
卒業・修了年次[前年]11月	0.8%	-	1.0%	1.5%
卒業・修了年次[前年]12月	2.7%	-	3.3%	2.7%
卒業・修了年次[前年]1月	4.0%	3.0%	4.2%	2.7%
卒業・修了年次[前年]2月	2.1%	1.5%	2.3%	3.3%
卒業・修了年次[前年]3月	13.4%	21.2%	11.7%	16.9%
卒業・修了年次4月	8.3%	6.1%	8.8%	4.7%
卒業・修了年次5月	5.1%	4.5%	5.2%	3.3%
卒業・修了年次6月	9.4%	13.6%	8.5%	8.9%
卒業・修了年次7月	4.6%	3.0%	4.9%	6.2%
卒業・修了年次8月	4.3%	-	5.2%	2.7%
卒業・修了年次9月	5.4%	3.0%	5.9%	3.6%
卒業・修了年次10月	4.0%	9.1%	2.9%	7.7%
卒業・修了年次11月	0.8%	1.5%	0.7%	0.9%
卒業・修了年次12月	0.8%	-	1.0%	1.5%
卒業・修了年次1月	1.3%	-	1.6%	1.8%
卒業・修了年次2月	0.5%	-	0.7%	0.9%
卒業・修了年次3月	0.5%	-	0.7%	1.5%

新卒紹介における今後の対応

	全体(n=524)	国公立(n=109)	私立(n=415)	参考: 19年実施調査
より積極的に案内したい	17.4%	9.2%	19.5%	9.5%
案内してもよい	27.7%	24.8%	28.4%	22.6%
どちらともいえない	42.7%	56.9%	39.0%	52.3%
できれば案内したくない	10.3%	7.3%	11.1%	13.1%
絶対に案内したくない	1.9%	1.8%	1.9%	2.6%
案内してもよい+より積極的に案内したい	45.1%	34.0%	8.9%	32.1%

(6) 低学年次からのキャリア教育(正課)やインターンシップについて

キャリア教育(正課)を実施しているか

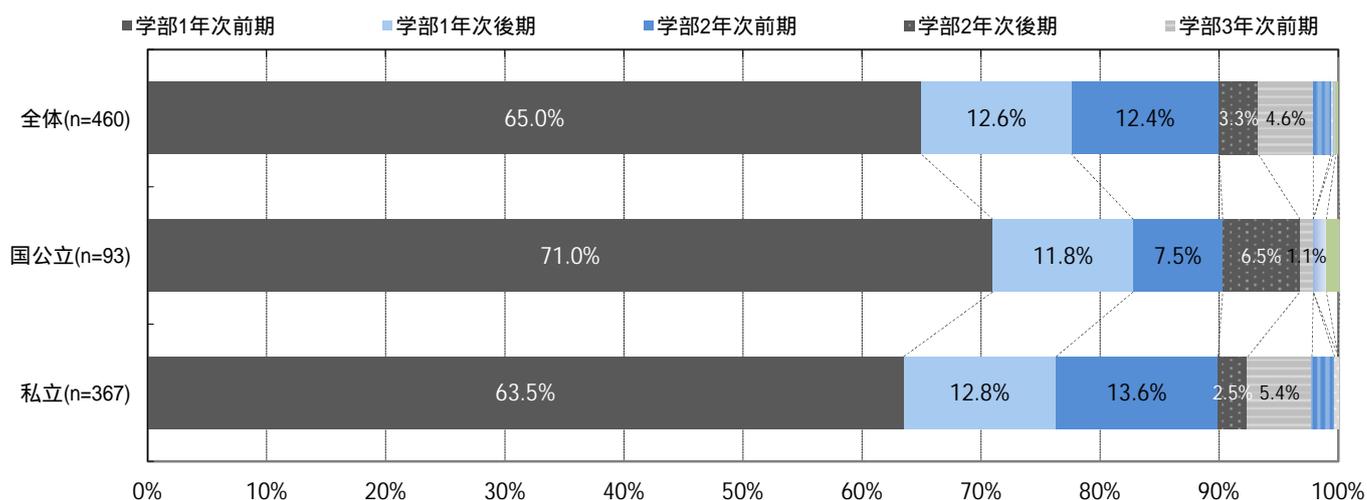
	全体(n=601)	国公立(n=136)	私立(n=465)	参考:前年調査
はい	88.2%	84.6%	89.2%	87.3%
いいえ	11.8%	15.4%	10.8%	12.7%

キャリア教育の開始時期

は今年度から選択肢に追加

	全体(n=460)	国公立(n=93)	私立(n=367)
学部1年次前期	65.0%	71.0%	63.5%
学部1年次後期	12.6%	11.8%	12.8%
学部2年次前期	12.4%	7.5%	13.6%
学部2年次後期	3.3%	6.5%	2.5%
学部3年次前期	4.6%	1.1%	5.4%
学部3年次後期	1.5%	-	1.9%
学部4年次前期	0.2%	-	0.3%
学部4年次後期	0.2%	1.1%	-
修士1年次前期	0.2%	1.1%	-
修士1年次後期	-	-	-
修士2年次前期	-	-	-
修士2年次後期	-	-	-

キャリア教育の開始時期



キャリア教育(正課)のなかで取り組んでいる内容

【低学年(大学1、2年生)対象】

	全体(n=469)	国公立(n=98)	私立(n=371)	参考:19年実施調査
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	92.8%	94.9%	92.2%	90.0%
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	20.3%	20.4%	20.2%	22.1%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	75.7%	66.3%	78.2%	74.8%
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	29.9%	33.7%	28.8%	27.2%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	20.3%	16.3%	21.3%	22.1%
資格取得・就職対策等を目的とした授業	23.7%	8.2%	27.8%	21.5%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	25.4%	24.5%	25.6%	27.9%
この対象では実施していない	2.8%	4.1%	2.4%	3.8%

【大学3年生または大学院1年生対象】

	全体(n=436)	国公立(n=88)	私立(n=348)	参考:19年実施調査
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	74.5%	64.8%	77.0%	70.4%
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	16.5%	13.6%	17.2%	16.3%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	61.7%	47.7%	65.2%	59.2%
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	26.6%	27.3%	26.4%	33.5%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	18.1%	11.4%	19.8%	18.6%
資格取得・就職対策等を目的とした授業	39.9%	20.5%	44.8%	39.2%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	27.8%	20.5%	29.6%	28.2%
この対象では実施していない	14.0%	20.5%	12.4%	15.1%

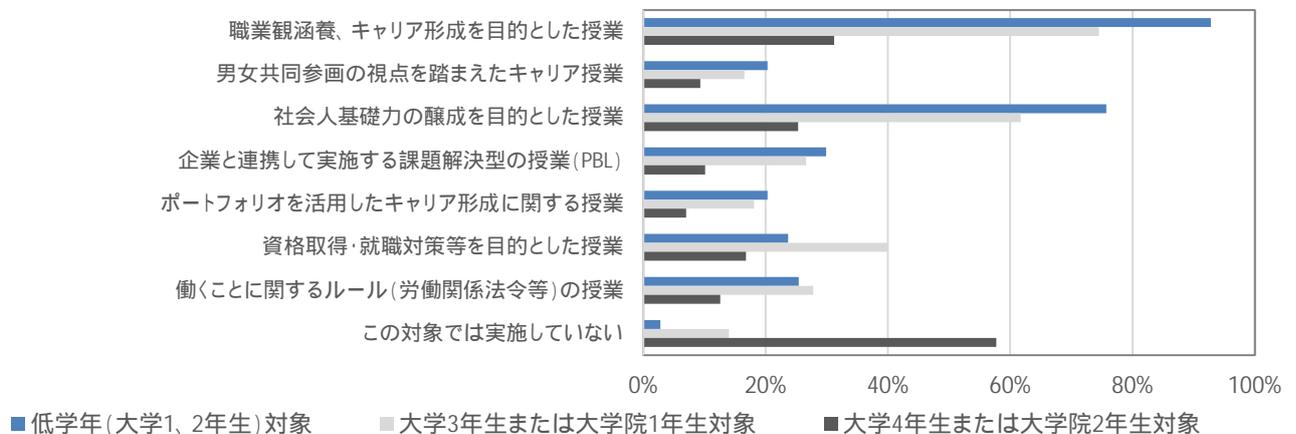
【大学4年生または大学院2年生対象】

	全体(n=388)	国公立(n=84)	私立(n=304)	参考:19年実施調査
職業観涵養、キャリア形成を目的とした授業	31.2%	38.1%	29.3%	32.6%
男女共同参画の視点を踏まえたキャリア授業	9.3%	9.5%	9.2%	7.6%
社会人基礎力の醸成を目的とした授業	25.3%	29.8%	24.0%	27.7%
企業と連携して実施する課題解決型の授業(PBL)	10.1%	13.1%	9.2%	13.5%
ポートフォリオを活用したキャリア形成に関する授業	7.0%	7.1%	6.9%	8.9%
資格取得・就職対策等を目的とした授業	16.8%	14.3%	17.4%	17.3%
働くことに関するルール(労働関係法令等)の授業	12.6%	9.5%	13.5%	14.2%
この対象では実施していない	57.7%	54.8%	58.6%	56.2%

低学年向けのアセスメントツール実施有無について

	全体(n=601)	国公立(n=136)	私立(n=465)	参考:前年調査
実施している(実施予定含む)	44.6%	22.8%	51.0%	43.0%
実施していない	55.4%	77.2%	49.0%	57.0%

キャリア教育(正課)のなかで取り組んでいる内容



【2022年卒実績】単位認定型インターンシップを実施しましたか

	全体(n=568)	国公立(n=126)	私立(n=442)
例年通り実施	33.0%	29.7%	34.0%
回数を減らして実施	5.2%	3.9%	5.6%
WEBも取り入れて実施	16.1%	21.1%	14.6%
実施しなかった	38.3%	39.8%	37.8%
その他	7.3%	5.5%	7.9%

回答大学	「その他」の意見
東海私立	昨年度については単位認定なし
北陸公立	届出制で単位を認定
関東私立	事前事後学習を対面からオンラインに切り替えたが、インターンシップ自体は対面で実施。
関東私立	22卒対象というわけではなく、全学年対象の単位認定型ISを2020年度は中止した

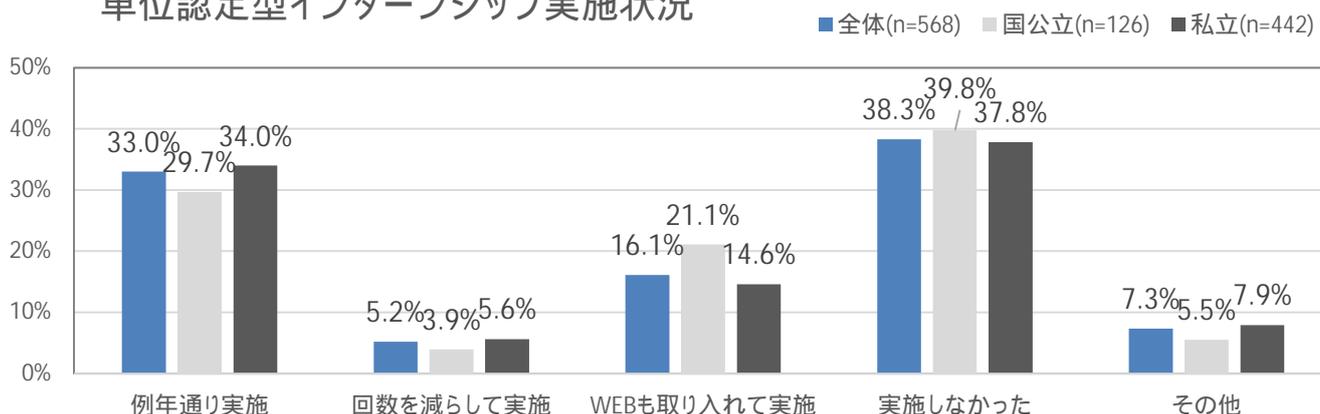
【2023年卒予定】単位認定型インターンシップを実施する予定ですか

	全体(n=568)	国公立(n=126)	私立(n=442)
例年通り実施	45.8%	42.1%	46.8%
回数を減らして実施	2.8%	2.4%	2.9%
WEBも取り入れて実施	17.4%	22.2%	16.1%
実施しない	23.6%	23.8%	23.5%
まだ決まっていない	5.6%	4.0%	6.1%
その他	4.8%	5.6%	4.5%

交通費や昼食代以外の報酬が支払われる【有償インターンシップ】についての考え

	全体(n=553)	国公立(n=120)	私立(n=433)	参考:前年調査
推奨する	8.3%	5.8%	9.0%	8.8%
どちらかという推奨する	12.5%	12.5%	12.5%	12.0%
どちらかという推奨しない	16.6%	14.2%	17.3%	15.8%
推奨しない	8.3%	6.7%	8.8%	10.9%
特に意見はない	54.2%	60.8%	52.4%	52.4%

単位認定型インターンシップ実施状況



(7) グローバル人材について

	全体(n=260)	国公立(n=40)	私立(n=220)	参考:前年調査
外国人留学生の国内就職希望者数平均	19.7	16.6	20.3	38.9

外国人留学生の就職希望者数の分布	全体(n=260)	国公立(n=40)	私立(n=220)	参考:前年調査
0人	28.8%	37.5%	27.3%	31.4%
1～9人	29.6%	27.5%	30.0%	24.2%
10～29人	24.6%	25.0%	24.5%	22.9%
30～49人	6.5%	5.0%	6.8%	9.3%
50～99人	6.2%	2.5%	6.8%	6.4%
100人以上	4.2%	2.5%	4.5%	5.9%

外国人留学生向けの就職支援を実施しているか	全体(n=520)	国公立(n=120)	私立(n=400)	参考:前年調査
日本人学生と区別して実施している	39.8%	35.8%	41.0%	39.4%
日本人学生と区別せず実施している	40.8%	50.8%	37.8%	40.0%
今年度実施予定はある	1.3%	-	1.8%	1.4%
実施しておらず、当座の実施予定もない	18.1%	13.3%	19.5%	19.1%

実施しているプログラム(複数回答)	全体(n=382)	国公立(n=87)	私立(n=295)
外国人留学生向けの日本での就職活動に関するガイダンス	69.6%	62.1%	71.9%
外国人留学生向けの学内合同企業説明会	14.7%	17.2%	13.9%
専任担当による個別相談	40.3%	41.4%	40.0%
模擬面接	53.7%	56.3%	52.9%
エントリーシート添削	58.4%	60.9%	57.6%
就職活動マナー講座	40.8%	39.1%	41.4%
日本語講座	12.8%	18.4%	11.2%
外国人留学生向けの求人を見やすくまとめる	22.0%	13.8%	24.4%
就職情報サイト登録会	19.4%	16.1%	20.3%
その他	8.6%	9.2%	8.5%

「その他」の意見	回答大学
留学生はオンライン希望者が多く就活支援も限られる	関東私大
留学生就職支援機関の利用	東海国立
ハローワーク見学会	関西私大
留学生を対象にした就職講座および企業との接点作り	関東私大
留学生向けの求人情報等をメールで配信	北海道私立

マイナビの外国人留学生就職支援について知っているか	全体(n=537)	国公立(n=124)	私立(n=413)
はい	67.8%	69.4%	67.3%
いいえ	32.2%	30.6%	32.7%

日本人留学経験者への特別な就職支援の実施	全体(n=514)	国公立(n=118)	私立(n=396)	参考:前年調査
実施している	10.9%	7.6%	11.9%	13.6%
今年度初めて行う予定がある	0.6%	-	0.8%	1.0%
実施しておらず、当座の実施予定もない	88.5%	92.4%	87.4%	85.4%

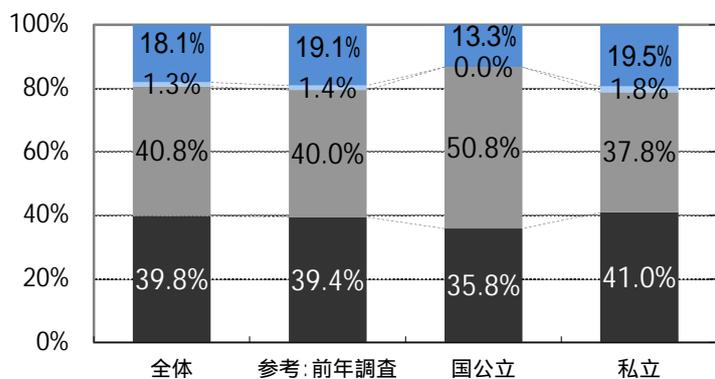
海外留学希望者への対応(複数回答)	全体(n=366)	国公立(n=83)	私立(n=283)
留学中止をアナウンス	35.0%	31.3%	36.0%
留学延期を推奨	34.2%	32.5%	34.6%
提携校とオンラインで実施(オンライン留学)	33.6%	37.3%	32.5%
その他	23.2%	28.9%	21.6%

「その他」の意見	回答大学
留学ならびに留学生担当のセンターで対応している。	関東私大
協定留学のみ、文部科学省の通知を参照し、再開を検討中	関東私大
従来留学希望者が少ない事と、コロナ禍で申し出がない。	甲信越私立
with/afterコロナの状況を踏まえたガイダンスの実施	関東私立
オンラインでの海外体験プログラムなどの提供	関東私立

マイナビの日本人留学生就職支援について知っているか	全体(n=529)	国公立(n=121)	私立(n=408)	参考:前年調査
はい	44.4%	41.3%	45.3%	67.7%
いいえ	55.6%	58.7%	54.7%	32.3%

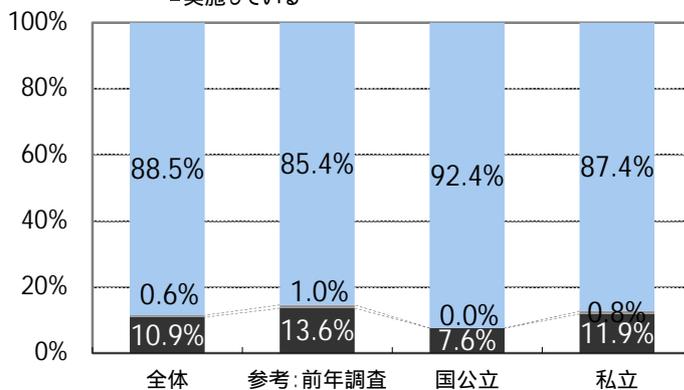
外国人留学生向けの就職支援を実施しているか

- 実施しておらず、当座の実施予定もない
- 今年度実施予定はある
- 日本人学生と区別せず実施している



日本人留学経験者への特別な就職支援の実施

- 実施しておらず、当座の実施予定もない
- 今年度初めて行う予定がある
- 実施している



(8) 新型コロナウイルス感染拡大が大学の支援やキャリアセンターの業務に及ぼす影響について

緊急事態宣言中の人事の訪問等窓口の受付状況（複数回答）

	全体(n=583)	国公立(n=132)	私立(n=451)	参考:前年調査
通常通り	43.2%	30.3%	47.0%	7.8%
電話での対応	64.0%	67.4%	63.0%	76.5%
メールでの対応	58.8%	59.1%	58.8%	77.4%
WEBでの対応	76.0%	79.5%	74.9%	37.2%
その他	11.8%	11.4%	12.0%	5.9%
閉室中のためストップ	2.2%	2.3%	2.2%	13.3%

緊急事態宣言中の学生からの相談対応について（複数回答）

	全体(n=589)	国公立(n=133)	私立(n=456)	参考:前年調査
通常通り	55.7%	45.1%	58.8%	9.0%
電話での対応	69.6%	57.9%	73.0%	87.1%
メールでの対応	66.2%	52.6%	70.2%	86.7%
WEBでの対応	81.7%	84.2%	80.9%	77.6%
その他	12.6%	13.5%	12.3%	7.4%
閉室中のためストップ	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%

新型コロナウイルス感染拡大以前から、WEBによる学生への相談対応を行っていたか

	全体(n=583)	国公立(n=132)	私立(n=451)	参考:前年調査
行っていた	18.0%	16.7%	18.4%	10.8%
行っていない	82.0%	83.3%	81.6%	89.2%

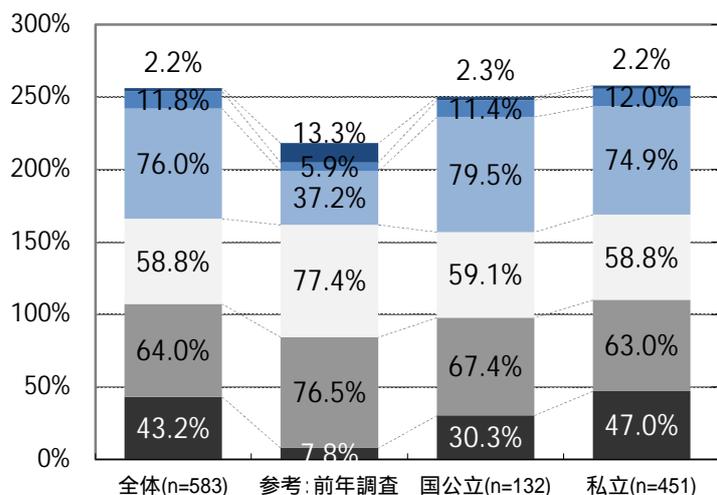
WEBで行った支援について（複数回答）

	全体(n=577)	国公立(n=130)	私立(n=447)	参考:前年調査
模擬面接	89.8%	90.0%	89.7%	85.4%
就職相談全般	91.5%	92.3%	91.3%	93.1%
エントリーシート添削	85.1%	86.2%	84.8%	84.6%
学内OBOG訪問	13.2%	13.1%	13.2%	5.0%
その他	8.5%	7.7%	8.7%	8.7%

緊急事態宣言中の人事の訪問等窓口の受付状況

(複数回答)

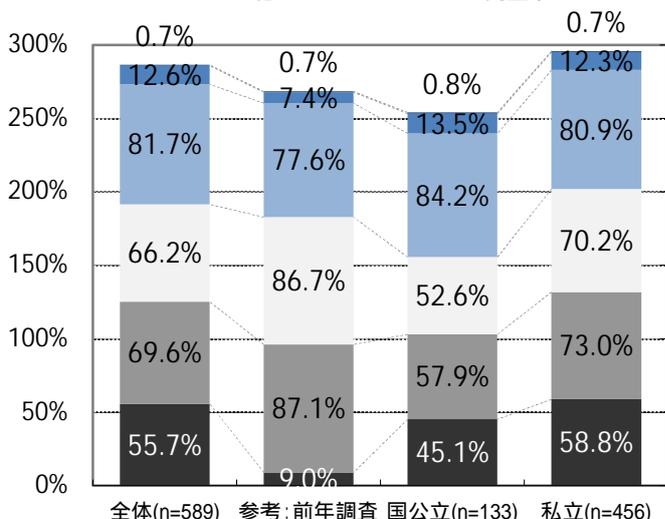
- 通常通り
- 電話での対応
- メールでの対応
- WEBでの対応
- その他
- 閉室中のためストップ



緊急事態宣言中の学生からの相談対応について

(複数回答)

- 通常通り
- 電話での対応
- メールでの対応
- WEBでの対応
- その他
- 閉室中のためストップ



就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会のWEBと対面の比率

就職ガイダンス	全体(n=566)	国公立(n=130)	私立(n=436)
WEB開催9割以上	54.2%	63.1%	51.6%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	11.7%	13.1%	11.2%
WEBと対面はほぼ半々	10.2%	8.5%	10.8%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	11.7%	10.0%	12.2%
対面開催9割以上	12.2%	5.4%	14.2%

業界研究セミナー	全体(n=505)	国公立(n=115)	私立(n=390)
WEB開催9割以上	62.4%	73.0%	59.2%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	7.9%	11.3%	6.9%
WEBと対面はほぼ半々	8.5%	4.3%	9.7%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	6.5%	3.5%	7.4%
対面開催9割以上	14.7%	7.8%	16.7%

学内企業説明会	全体(n=520)	国公立(n=114)	私立(n=406)
WEB開催9割以上	56.3%	65.8%	53.7%
ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)	9.8%	13.2%	8.9%
WEBと対面はほぼ半々	10.6%	9.6%	10.8%
やや対面の方が多い(対面開催6～9割)	7.3%	7.0%	7.4%
対面開催9割以上	16.0%	4.4%	19.2%

新型コロナウイルスの影響による内定取り消し報告はありましたか

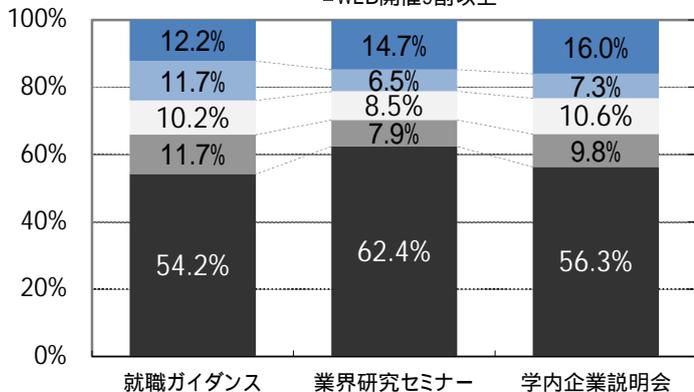
	全体(n=581)	国公立(n=131)	私立(n=450)
報告があった	19.8%	7.6%	23.3%
報告はなかった	65.9%	69.5%	64.9%
把握できていない	14.3%	22.9%	11.8%

2022卒年学生の内定率は2021年卒と比べて

	全体(n=559)	国公立(n=121)	私立(n=438)
上がりそう	19.1%	12.4%	21.0%
前年並み	68.7%	79.3%	65.8%
下がりそう	12.2%	8.3%	13.2%

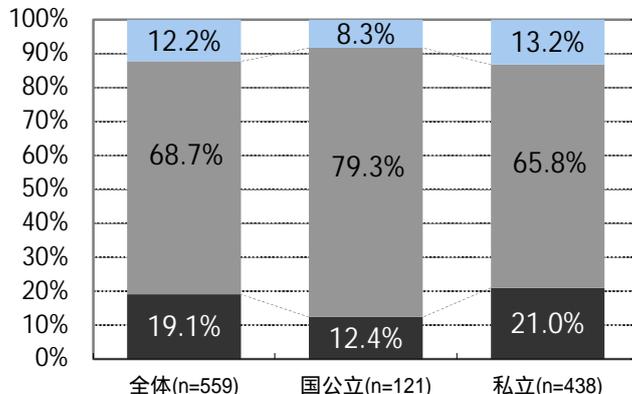
WEBと対面の比率

- 対面開催9割以上
- やや対面の方が多い(対面開催6～9割)
- WEBと対面はほぼ半々
- ややWEBの方が多い(WEB開催6～9割)
- WEB開催9割以上



22年卒の内定率は21年卒と比較してどうなりそうか

- 上がりそう
- 前年並み
- 下がりそう



(9)自由記述

学校主催で行う就職ガイダンス増減の理由

増えた理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
東北	私立	ガイダンスの実施回数が多かったこと、オンライン開催のガイダンスが多かったので、気軽に参加できたことが増えた理由の1つであると考えられる。また、コロナ禍で就活に危機意識が高まったこともあるかも知れない。
中国	国立	コロナの影響による就職市場の悪化を感じ、不安に思っている学生が多いため、早くから就職関係の情報にアンテナをはっているように思える。
関東	私立	昨年は、コロナの影響で実施できなかったガイダンスがあった。
九州	私立	22年卒学生のガイダンスはほぼオンラインで実施したため、自宅から気軽に参加できるという事もあり、全部のガイダンスで参加者の増加がみられました。
甲信越	国立	コロナ禍就活第1世代の21年卒の状況や日々のニュースから焦りを感じる学生が多く、その焦りがイベントへの参加意欲に繋がったと考えられる。
東海	私立	コロナ禍の影響で対面ではなくオンラインでの実施になったこと、大学への出校停止もあり、情報入手が困難であったこと。コロナ不況という情報もあり、学生の就活に対する不安が大きかったこと。
関東	国立	コロナ禍での就活に不安を覚えて意識が高まっていることと6月半ばまで授業がオンライン(オンデマンド)での開催であったため、時間調整がしやすく参加しやすくなった学生が増えたことが要因と考えられる。
関東	私立	コロナ禍における不安のため、キャリアサポートを求める数が増えた。
関東	私立	昨年度前期のガイダンスは新型コロナの影響で学生も不安があり、またライブではなく動画のオンデマンド配信だったため、いつでも視聴できるということで視聴者数(=参加人数)が増えたのではないかと考える。
中国	私立	ガイダンスを分散し、学部・学科ごとで日時を設定したことにより、学生にとっては参加しやすくなったと考えられる。
関西	私立	学生の進捗把握を徹底するため、回数を分けて実施したことにより参加者数が増加した
東海	私立	企業側もオンラインでのインターンを実施するところが増えているところも原因と考えられます。

減った理由

関東	私立	オンライン環境への移行がうまく進まず、効果的な実施形態を構築できなかった。
関東	私立	オンライン授業が中心となり、オンラインに対する疲れと授業優先となり、就活が後回しになったと思われる
甲信越	私立	コロナの影響で学生がキャンパスにこない・オンライン開催となり、効果的な告知を打てなかったため。
東海	国立	コロナ禍で、遠隔授業の時期に周りの学生の就活状況がわからず、動いていない学生が多数いると推測される。
関西	私立	コロナ禍による遠隔授業の増加に伴い、対象学生への開催案内等の周知が徹底できなかったため。
九州	私立	大学が行うガイダンスの価値が、学生から見ると低い。大学が行うガイダンス以外に直接かつ短絡的に情報が得られる環境がある。
北陸	私立	前期がオンラインでの開催となったことにより、学生間の横を見ての「参加しないとまずい」という意識が希薄になったことが考えられる。
関東	私立	新型コロナの影響により、特に前期は混乱の中の就職ガイダンス実施だった為、手探りの中での運営が響いたと思う
甲信越	私立	新型コロナウイルス感染症拡大によるプログラム縮小
関東	私立	就職ガイダンス、各種講座が計画通りに実施できなかった。代替措置として、急遽オンラインに移行をおこなった。また実施できなかった講座等のコンテンツをオンラインや一部対面で実施するが、混乱もあり前年の数には至らず。
関西	国立	コロナ感染の影響で諸活動が自粛ムードとなった
関東	私立	オンデマンド配信を実施したため後から確認できるのでライブの参加者数が減った。

キャリアセンターの負荷増減の理由

増えた理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	20年卒と比較して、21年卒、22年卒はオンラインと対面とのハイブリッドとなり負荷は倍増している。21年卒は混乱の中での負荷増だったが、22年卒は現状把握のための手間と打ち手を増やすの両面で負荷は増えている。
関東	私立	4年生の就活のピークと3年生への就職支援開始の時期が丸被りの状態にあるため、本学のスタッフ数では対応(個別面談とガイダンス・セミナー実施)に限界がある(本年度は大半がオンライン対応となったことで少し軽減されてはいる)
東海	国立	WEBと対面での個人相談対応など、キャリア支援事業を複数の方法で実施する必要があったため
九州	私立	21年卒では支援の形式をWEB形式に変革するのみだったが、22年卒では更にWEB形式でも多方面と学生が双方間で交流できるイベントの設定をしているため
関東	私立	オンライン、対面の双方での相談対応が増加し、カウンセラーを増員。また、障がいのある(傾向のある学生を含む)学生の対応、留学生の就職支援対応の負担が増えてきている。
甲信越	国立	オンラインガイダンス及びWEB個別面談の実施に伴う機材整備、オンラインガイダンス配信用サイトの開設・整理作業、録画編集・アーカイブ配信作業など、通常業務に加えてオンライン化に伴う作業が増加した。また、コロナ禍における不安定な環境下で相談を希望する学生が増え、個別面談枠の増設やメール等での問い合わせ対応にもこれまで以上の対応を要しているため
四国	公立	オンラインでのチャット等のやりとりの件数増加、ES添削が気軽にできるようになり、職員の負担増。合同説明会の頻度を増やし、ガイダンス、イベント数を増加させた背景からも負荷が増加した。
東海	私立	オンライン就活対策の実施やセミナーの参加人数上限を減らし実施回数を増やす等の対応、連絡の取れない学生の増加等への対応による
関東	私立	オンライン対面双方でのイベントの開催や、政府の方針に合わせた臨機応変の対応が求められるため。
関西	私立	オンライン等、様々なスタイルに適した行事運営や相談形態の準備等に時間を要した。また、コロナ禍での対面行事運営において以前よりも少人数制としたり、来場者は座席指定としたり、運営における準備の労力が増加した。
東北	公立	キャリアセンターが学生への連絡を増やしている事、学生へのキャリアセンター利用を強く促している事、キャリアセンター内が密にならないよう、予約制にしている事。学生のキャリアセンター利用率(同一学生が何度もリピートする事は多い)が上がっていること。
関西	私立	キャリア系科目(授業)をキャリアセンターで担当しており、オンライン授業化に伴う、オンライン教材の開発などが増えたため。
関東	私立	コロナ禍でオンラインでの様々な対応が増加したとともに、コロナ禍で就活に悩む学生が増えたため。
九州	私立	ソーシャルディスタンスの関係で、複数会場で同時配信などによる負担が大きく増加した
中国	国立	学生を大学に通学させない期間があったので、その間の相談方法としてZOOMや電話、メールを利用していたが、対面より効果的ではなくその分時間も労力もかかる結果となった。
甲信越	私立	対面、WEB、オンデマンドと、対応方法が多様になり、その準備、実施の仕事量が増えた。求人減少および内定率の低下に対する対応が増えた。
関東	私立	密を避けるため1つのガイダンスを2回おこなったり、学内合説も大教室ではなく小教室をいくつも使用するため人員が必要であったりと負荷が増えるため。
関東	私立	特定の職種の募集枠減少により、個別相談件数が大幅に増加した。

減った理由

関東	私立	21年卒は「コロナ元年」とも言え、想定外の負担(コロナ対応の学内連携、学生対応等)やオンライン支援等も重なり、心理的な負担も含めて負荷は高かった印象です。本年度は、「withコロナ」ということで、現実的で冷静な対応ができています。
東海	私立	21年卒は学内入構禁止期間もあり、かつWEB対応に対する知識も不足していたため、対策に時間を要したが、22年卒はある程度学生が窓口へ来るのと、前年に蓄積されたノウハウが上手く活用できたため
甲信越	私立	オンライン対応中心となり、直接来室する学生が減った為、仕事のスケジュールを立てやすくなった。
中国	公立	ガイダンスや講座等、対面開催が前年よりも増えメールやWEBの対応が減ったため。
関西	私立	昨年はオンライン対応に追われていたが、対面・オンラインとも対応策が周知されたため、比較すると負荷は減った。
中国	公立	コロナ禍のイベント開催手法や学生指導手法をノウハウ化出来たため。
関西	私立	新型コロナウイルス感染拡大の影響で入室制限があった

今後のインターンシップに関して、就職情報会社に対するご意見やご要望等

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関西	私立	長期インターンシップを計画されている企業を紹介していただきたい。
九州	国立	低年次向けに特化した、就業体験型のインターンシップ情報の提供
関東	私立	就業体験を伴うことがインターンシップの本来の意味合いだと思いますので、掲載する企業のプログラムが企業説明で終わらないように引き続き注意喚起いただきたいです。
九州	私立	視覚障害学生が参加できるインターンシップ情報を希望します。
関西	私立	今後も学部3年次又は短大1年次を対象としたインターンシップ、ワンデー仕事体験が早期化(夏季休暇中あるいは秋以降に実施)することが進むのではないかと思います。そのような中、夏季休暇中の開催であれば問題ないのですが、秋学期の通常期間中を含む日程で開催される事例が数多く見られます。できるだけ、正課の授業期間を除いた日程で開催いただくようご配慮いただきたいと思っています。
九州	国立	企業、業界、仕事理解はもちろん学生同士(他大学生)、社会人接点から社会人基礎力向上につながるプログラムを各企業様へご提案頂きたいです。
中国	私立	学生の就業観の醸成に役立ち、就職後のミスマッチを防ぐ職業選択の幅が広がるような内容で実施されるのが望ましいです。
九州	私立	学業への影響を配慮して、授業実施期間内のインターンシップ開催を抑制してもらいたい
関東	私立	各企業が実施するインターンシップに関する評価がよく分かる仕組みを作って欲しい。
九州	公立	ごく稀にはあるが、悪徳なインターンシップを行っている会社もある。大学としても、それらへの参加を未然に防ぐべく、インターンシップの内容を可能な限り細かく記載をいただきたい。
関西	私立	インターンシップの有用性、探し方のヒントをまとめた動画があると助かります。基本的に大学に学生が来ないので。
東海	私立	インターンシップは何らかの就業体験をしたり会社の雰囲気を知るのによいと思っています。就職情報会社様へは学生に正しい情報を提供していただければと思います。
東海	私立	1、2年生から参加できるインターンシップを増やしていただきたいです
東海	私立	(特に官公庁のインターンシップにて)自治体自体が大学経由で応募させている。決定した場合、参加必須となるが自治体間での応募期間等異なっていることなどから学生に不利益が生じている。可能であれば、大手就職サイトが取りまとめの上、学生が複数応募しやすいような体制が整備されていると良い。
甲信越	国立	特に要望等はありませんが、情報過多によりどの情報を見ればよいかわからない、一度登録すると膨大にメールが届き情報が埋もれてしまう、等の声が昨年以上に学生から届いております。役立つツールがたくさんあっても使いこなせていない学生が多いという印象です。

今年度のインターンシップに関して、企業に対するご意見やご要望

エリア	学区分	自由回答部分記載
北海道	国立	5日間以上でのインターンシップ受入れ企業が減ってきている印象です。より学生が理解を深めるためにも、5日間以上のインターンシップ受入れをさせていただきますようお願い申し上げます。
関東	私立	WEBでのインターンシップも多く実施されていますが、企業様には学生が働くイメージが出来るようなプログラムや社員と関われるプログラムで実施いただきたいです。
関東	私立	オンラインでのインターンシップの充実、会社の雰囲気や働き方を理解できるコンテンツの提供
関西	私立	いわゆる地元企業で「オンライン化」が遅れている。WEBインターンシップを推奨してもらいたい。
北陸	私立	オンラインインターンシップは今後も継続していただきたい。(地方学生のメリットのため)また、オンラインであっても社風等も伝わる工夫をお願いします。
北海道	私立	オンラインのみのプログラムにならざるを得ないと思うが、双方向のコミュニケーションがとれる機会をできる限り多く持っていただきたい。
東海	私立	この度のコロナの状況ということは、仕方のないことだが、できれば、対面の体験型のインターンシップ実施をお願いしたい。実際に体験することで、就職活動のモチベーションにつながり、就職後のミスマッチが防げると思う。
関東	私立	コロナウイルスの影響で、今年度も前期授業が8月末までであるため、出来るだけ学業に影響のない「日祝」の開催をお願いいたします。また、授業等で参加できない学生もいるため、採用選考につなげないもしくは考慮していただきたいです。
北海道	国立	5日以上のインターンシップを推奨したいが、学生も集中講義やアルバイト、課題提出等多忙な日々を送っている。2日のインターンシップを3回(計6回)実施するなど、学生の都合も考慮したプログラムを検討していただきたい。
九州	私立	インターンシップの定義や社会のなかでの位置付けが定まらない中で、採用活動の一環として取り入れられ、更なる早期化につながることを懸念しています。
関東	私立	学生にインパクトのあるインターンシップの機会を増やして頂ければと思います。
関東	私立	コロナの影響で仕方がないと思いますが、受け入れ人数が少なく、エントリーしても参加できない、という学生の話をよく聞きます。インターンシップに参加できない学生へのフォローもお願いできれば幸いです。
関東	私立	コロナ禍で対面が難しい状況のなか、企業様には工夫していただき感謝している。インターンシップ選考内容が就職活動の選考とほぼ変わらないほど難しいものがある。多くの学生にチャンスを提供できるよう、選考方法を検討いただきたい。

キャリアセンターの取り扱い業務において、
新型コロナウイルス感染拡大防止のために行った／行う予定の対応策

エリア	学区分	自由回答部分記載
北陸	公立	入校時の検温、マスク着用、手指消毒、アクリル板越しの対面相談。
関東	国立	飛沫防止用のパーテーションと消毒液の設置
関西	私立	従来対面のみだったガイダンスや面談予約、ゼミ別セミナーなど、すべて対面・オンライン両方に対応できるようにした。
甲信越	公立	日常的な消毒の徹底とキャリアセンター来訪者の記録、セミナー参加者のソーシャルディスタンスや換気、セミナー終了後の消毒作業徹底。
関東	私立	学内業界研究セミナーは企業に紹介動画を作成していただきそれを配信した
中国	私立	Webによる会社説明会や面接試験等に参加する学生に対する、学内Web環境の整備
東海	私立	WEB面接の予行やPCの貸し出し。WEB面接時の教室の確保。
中国	公立	オンラインでのキャリアカウンセリングの実施や、インターンシップ等の学生申込をメールでの対応も可とした。
関東	国立	保護者を対象にしたキャリア支援に関する説明会・個別相談会をオンラインにて実施した。
関東	国立	キャリアセンター入口に入室記録用のQRコードを設置
中国	私立	YouTube限定公開によるガイダンスの実施。オンラインでの面接練習や相談など。
甲信越	私立	対面とオンラインのハイブリッドですべての就職支援行事や相談対応を実施している。
関西	私立	対面実施の場合、大学のイベント開催基準に基づき、検温・消毒・換気を行うとともに、学生間の相互距離を1m維持用開けて、開催している。
関東	私立	来室の事前予約制、滞在時間の制限(最大90分まで)、支援行事の(基本的には)オンライン対応
関西	私立	すべての支援業務をオンライン化した。キャリア教育(科目)の中に、コロナ禍の就職活動の内容を取り入れた。学生の「行動指針」を明確にした。
関西	私立	政府が推奨する対応策、全てを実施した。今後も継続。
関西	私立	Webアンケートによる就活状況の把握
関東	私立	就職支援セミナーの入り口にパソコン設置。入室時にGoogleMeetによる入室での要件確認をしている。窓口・相談ブース、閲覧室、面接室等アクリル板・サーキュレーターを設置。
関東	私立	サテライトオフィスの活用(学生の移動リスクを防止するため)
関西	私立	学生への情報提供および相互連絡の円滑化を目的としたオンラインシステムの開発および導入
中国	私立	県境を越えて就職活動をする学生に対する、移動届出書類の作成指導、前後2週間の健康観察書類の確認。
北陸	私立	キャリアアドバイザーとのWEBによる相談、添削、面接練習。

今年度の就職活動について課題や、企業に向けてのご意見

エリア	学区分	自由回答部分記載
九州	私立	22年卒の学生に関しては、一度も対面で合わずに支援をしてきているので、関係性が構築できていない。進路報告も滞っているため、内定率調査に影響が出ている。本当に支援が必要な学生がキャッチできていないため、ゼミの担当教員とキャリアセンターで連携体制を強化し、22年卒・23年卒の支援体制を整えている。
東北	国立	4年生の就職活動はまだまだ続いております。今後も4年生の採用情報など頂戴いただけますようお願い申し上げます。
九州	国立	AIを利用した採用について、学生への事前説明を徹底してほしい
北海道	私立	WEBの企業説明会や面接だけでは企業の実像を知ることが難しいという側面がある。感染防止対策を講じる一方で、学生、企業双方が納得のいく機会となるよう善処いただきたい。
関東	国立	WEB情報配信に慣れて、情報を受け取るのみで、業界や企業理解の浅い学生が増えている点が課題である。各企業様には可能な限り長期間のインターンシップ実施や会社説明会の内容調整などお願いしたい。
東北	私立	WEB選考の増加により、地方学生も選考を受けやすくなったが、説明会等は全てWEBでの実施ではなく感染防止対策を取ったうえで対面での実施などWEBと対面の併用をお願いしたい。
関東	私立	インターンシップなどの斡旋を含めて低学年からのキャリア教育を行っていきたくており、連携企業を広く求めたい。
東海	国立	オンラインが主流になってきている中、どのように多くの学生と接点を作るべきか、またオンラインによる就活への取り組み格差の縮小が課題。企業には安定的な新卒採用枠の確保をお願いしたい。
関西	私立	オンラインでの選考が増加したことにより、企業と学生、学生同士の繋がりが希薄になっている。ミスマッチが起らないように、対面での面接を極力実施するようにしていただきたい。
関東	私立	オンラインによりプラスに働いた変化を今年度以降も継続していただけると良い。特に都心部から離れたキャンパスの学生にとっては就職活動がやりやすくなった面もある。
関東	私立	企業からの内定承諾に関する学生への圧力が激しくなっている印象があります。学生の将来を考え、選択肢を広げられるようにしていただけると幸いです。
東海	私立	オンライン就活は気軽に行える反面、学生自身の手足を動かし、肌で感じるという経験になりづらいため、「やった気」になりやすい課題があると考えています。自戒を込めてですが、オンライン化できたから良いではなく、如何に学生の学びにつなげるかを常に意識する必要があると感じています。
九州	私立	コロナで友人や社会活動での偶然の出会いや経験がない・育まれないことへの対応をどのように考えるか。また企業側も学生の何をみて判断をされるかをうかがいたいです。
甲信越	国立	コロナの影響で焦る学生が多いと感じる。現時点では例年より熱心かつ早めに活動してくれており有難いが、スタミナ切れが心配。また「求人数が少ない」との思い込みから、1社内定をもらった時点で就活を半ば妥協する形で終了してしまう学生がいる。ニュースや噂に流されず、納得して就職先を選べるよう支援していきたい
九州	公立	コロナ禍での影響が気になる。多くの企業がWEB面接やWEB説明会などコロナ対策が進んではいないものの、学生の中には、最新の選考方法に戸惑っている学生も多い。随時セミナーなどを開催して、コロナ禍独特の選考の知識を与え、慣れさせることが課題となる。
関西	私立	ワクチンの効力にもよりますが、やはり職業選択に伴う、キャリア支援は対面で実施されるべきです。そのため本学でも対面での実施を模索することが現在の課題です。企業への意見としては、前途したように、今年度はどんな人材が欲しいのか？情報サイト各社の原稿修正は面倒かと思いますが、毎年欲しい人材は変わるとも思います。万人受けするPR文面では本当の企業研究やマッチングは測れないため、真に欲しい人材が分かるようなPR文書への変更を毎年していただきたい気持ちです。その分、高等教育機関としても、各社の求める人物像を、徹底して学生に学修させ、ミスマッチを防ぐ進路支援ができればと思います。
東北	私立	会社説明会がオンラインになり、学生が希望する企業にしか目を向けられないことが課題。大学の支援として学生の満足度も大事だが、企業様の満足度も大切であり双方の満足を得るイベントの運営が難しく感じる。
北海道	公立	学生から内定承諾書に関する相談を受けることが多く、中には「オウハラ」と思われる事例も散見されます。企業側の都合も十分理解できる反面、学生にとっては将来を決める重要な選択です。承諾書の提出を無理に迫るのではなく、入社前の不安が軽減され、納得して入社を決断できるような対話と情報提供をお願いしたいです。
関東	私立	学生が就職に対して危機感を感じる状況において、大学の取り組みに対する反応が鈍くなっていると感じる。就活方法の多様化、学生気質の変化、情報過多(メールなどでの発信強化)など様々な要因が考えられる。実態が見えないのでどのように対策していけばよいのか悩みは尽きない。
北陸	私立	学生の「OBOG訪問」は企業研究の一つとして以前は有効であったが、インターンシップの普及と個人情報の観点から推奨できない状況にある。一方、企業側のリクルーター制は近年増加傾向にあるように思える。リクルーター制の見直しについて伺いたい。
関東	私立	今年度は最終面接のみ対面で実施するケースが多く見られるが、同時に最終選考で不合格になる学生の割合が高いように感じる。採用側からすれば最後まで対面で会いたいということと思われるが、学生からすれば最後になって初めて会社に訪問するという状態により、学生の不安が増えていることは課題と思われる。

これからの就職支援についてのご意見

エリア	学区分	自由回答部分記載
北海道	国立	低学年のキャリア意識の醸成。自己分析、企業・業界研究。業種、職種希望の幅を広げること。インターンシップの参加者を増加させる。動き出しが鈍い学生への支援。オンライン対応への支援。
北海道	私立	早い段階から自己キャリア形成につながる正課科目の充実と背中を押すガイダンスを考えていきたい。
関東	私立	就職内定者に対するフォロー（ビジネスマナー等）、オンライン就活が進む中でオンライン化に対応出来ない学生への個別支援等が課題です。
関東	私立	卒業時の満足のいく進路決定のための1、2、3年生のキャリア教育再構築と体系化、障がいのある（または傾向のある）学生への就職（就労）支援が本学の課題となります。
東海	私立	通年採用が当たり前となった場合の大学就職課としての立ち位置、ガイダンス・セミナーの開催時期設定が難しくなり、よりコストとマンパワーが必要となってくる。
関東	私立	就職支援も大事だが、就職後の離職率低下を目指した、メンタル講座等を実施したいと思います。
四国	私立	オンラインの活用が日常化し、大学側も学生側も慣れたが、情報提供の限界を感じる。ワクチン接種が終了し、後期もしくは来年度からは対面のみでの実施に帰ることを願っています。
東海	私立	学校推薦が就職活動のフローの削減の要素が強くなっており、その内定獲得率はこれから学校推薦を受けるか検討する学生にとって、後押しになるような数字にはなっていません。また、コロナ禍で学業や課外活動を十分にできていなかった学生へのフォローは、過年度生とは考え方を考える必要があると考えています。
関東	私立	内々定保有者の活動継続について、企業へどのような働きかけが必要か例年苦慮しています。正直に相談することが失礼にあたるのか、企業側のお考えも知りたいです。
関東	私立	22卒についてこれからの就職活動は、昨年よりも状況は悪化するものと思われ、支援も難しくなる。採用継続情報の等リアルタイムな情報が必要とされると同時に、個々の学生の就活進捗度の把握や、個別対応が難しい状況にもなると思う。マイナビなどで22卒支援も継続して行っていただきたい。
東海	私立	オンラインツールを使用したプログラムは、申込のハードルが低い一方で参加に対する責任が薄くなっている点が課題だと感じる。
九州	国立	学校推薦と早期選考の違いが分かりにくく、対応が難しくなってきた。
関西	私立	企業が選考応募者に対して、専ら内定辞退の回避を目的として推薦書の提出を求める（後付け推薦等）など、応募者の利益を損なう恐れのある推薦書の利用が蔓延しつつある状況を懸念しています。
関東	私立	新型コロナウイルス感染拡大前の求人数に戻ることを願っています。
東海	私立	内定承諾に関しては、できるだけ柔軟に対応して頂くと助かります。色々な都合などもあると思いますが、柔軟に対応して頂くと学生を含め大学側も良い印象を受けます。
関西	私立	内々定・内定の取り扱いについて課題を感じています。学生が内定を複数保持し、内定承諾書も見境なく提出する状況に対し、企業側も内定の電話連絡をするものの、正式通知を出さないことや、内定の連絡を保留し、ずるずると互いに決断を先延ばしする状況が改善されると良いのではと感じます。
甲信越	公立	内々定保有者について、企業側に内定受諾送付期間を長めに欲しい。学生の立場からすると第一志望企業の内々定が出る前に第二志望の企業から内定が出て受諾を迫られるのは難しい判断になってしまう為。
関西	私立	日本語の話せない外国人留学生を受け入れるインターン先、採用してくれる企業を案内して欲しい。
北海道	私立	非対面型支援のあり方は引き続き工夫を重ねていく必要がある、他大学の好事例や課題などをとりまとめて公開するなどして頂けるとありがたい。
関西	私立	留学生に対する就職支援について、外部機関から提供されるものから、有効なものを活用していけたらと感じるが、なかなかフィットするものが見つからない。